

2024 年度
学生生活アンケート 報告書
(清泉女学院大学)
(清泉女学院大学大学院)

学生生活委員会

目次

1. 調査概要	4
(1) 調査目的	
(2) 調査期間	
(3) 調査対象者と回答率	
2. アンケートの集計（全体）	5
(1) 本学での学び・学生生活について問う項目	
①本学での学びにあたっての質問項目	5
設問1【ディプロマ・ポリシーの認知】 【入学満足度】 【キャリア計画】	
②学生生活に対する考えを問う項目	7
設問2【教育満足度】 【将来のキャリアイメージ】 【健康成長意欲】	
設問3【専任教員との関係】 ・ 【友人関係】 ・ 【学内での居場所】	
③時間の使い方に関する項目	10
設問4 1日当たりの時間の使い方（SNS利用・通学・読書・自習・交友）	
設問5 1日当たりの時間の使い方（学内活動、学外活動、ケアなど）	
④悩みや悩んだ時の相談先に関する項目	17
設問6 現在の悩み事	
設問7 悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先	
(2) 相談窓口・施設設備関連について問う項目	
①学内の相談窓口の認知に関する項目	19
設問8 学内の相談窓口の認知度	
②本学からの連絡を受け取る手段に関する項目	20
設問9 本学からの連絡を受け取る手段	
③施設設備の利用に関する項目	21
設問10 授業時間外の施設設備の利用	
④施設設備の満足度に関する項目	25
設問11 施設設備の満足度	

(3) 教育体制・各部署の対応について問う項目

①教育体制への満足度に関する項目	29
設問 12 教育体制に対する満足度	
②各部署の対応の適切さに関する項目	32
設問 13 各部署の対応の適切さについて	
1. 学生支援部（教務課・学生課）	32
2. 学生支援部（キャリア支援課）	32
3. 地域連携センター	33
4. 国際交流センター	33
5. システム室	33
6. 総務部（M館1階の総務課・管財課、経理課）	34
7. 入試広報部	34
8. 図書館（上野・東口）	34
9. 保健室	35
10. 東口事務部	35

3. アンケートの集計（学科） 36

(1) 心理コミュニケーション学科

設問 1 回答者の所属コース	36
設問 2 所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて	36

(2) 文化学科

設問 1 カリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野	39
設問 2 文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて	39

(3) 看護学部（看護学科・専攻科・研究科）

設問 1 地域に関わる活動	41
設問 2 全体的な満足度	41

1. 調査概要

(1) 調査目的

学生の本学における学校生活の実態と学校生活満足度を把握し、統計的な処理をへて、教育の質向上や教育環境の改善に役立てることを本調査の目的とする。

(2) 調査期間

2024年12月9日(月)～2025年1月10日(金)

(3) 調査対象者と回答率

	対象者層	回答数	在籍数	回答率(前年度)	
短大	幼児教育科1年	63	69	91.3% (87.7%)	
	幼児教育科2年	53	72	73.6% (53.4%)	
	国際コミュニケーション学科1年	27	34	79.4% (70.0%)	
	国際コミュニケーション学科2年	28	42	66.7% (59.3%)	
大学	心理コミュニケーション学科1年	33	47	70.2% (72.0%)	
	心理コミュニケーション学科2年	32	74	43.2% (71.2%)	
	心理コミュニケーション学科3年	41	62	66.1% (64.3%)	
	心理コミュニケーション学科4年	39	74	52.7% (54.5%)	
	文化学科1年	19	25	76.0% (86.7%)	
	文化学科2年	15	30	50.0% (58.6%)	
	文化学科3年	17	33	51.5% (42.3%)	
	文化学科4年	16	25	64.0% (47.2%)	
	看護学科1年	49	57	86.0% (51.8%)	
	看護学科2年	37	78	47.4% (42.9%)	
	看護学科3年	35	76	46.1% (31.4%)	
	看護学科4年	40	88	45.5% (43.5%)	
		大学院看護学専攻/助産学専攻科	13	19	68.4% (62.5%)
		短大全体	171	217	78.8% (66.9%)
	大学全体	373	669	55.8% (56.7%)	
	組織全体	557	905	61.5% (57.6%)	

2. アンケートの集計（全体）

学生生活アンケートで調査を行った設問1から設問13について、それぞれの設問の内容と回答の集計の概要を報告する。

（1）本学での学び・学生生活について問う項目

①本学での学びにあたっての質問項目

（Q1）ディプロマ・ポリシーの認知・入学満足度・キャリア計画

設問1では、ディプロマ・ポリシーの認知（本学の理念を知っている・本学の理念について説明できる・所属学部のカリキュラム・ポリシーを知っている 計3項目）、入学満足度（入学した学部・学科が自分に合っている・清泉に入学してよかったと感じる・所属学科には学びたい科目がある 計3項目）、キャリア計画（在学期間中、学内で取得できる資格を熟知している・入学に際して、自分のキャリアを想定して本学を選んだ・所属学部が養成しようとしている人材像を知っている 計3項目）の計9項目について、回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問をランダム化して尋ねた。回答方法は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法であり、「あてはまる」を4点、「あてはまらない」を1点として集計を行った。

2024年度及び前年度の大学の学科・学年ごと、及び大学院と全体を集計した平均値（ μ ）及び標準偏差（ σ ）を記載する。

◆大学(昨年度比較)						
対象者層	ディプロマ・ポリシーの認知		入学満足度		キャリア計画	
	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)
	μ (σ)					
心理コミュニケーション学科1年	7.2 (2.2)	6.8 (2.09)	10.1 (1.63)	9.6 (2.23)	7.8 (2.38)	7.9 (1.58)
心理コミュニケーション学科2年	7.3 (2.42)	7.1 (2.37)	10.1 (1.98)	10.2 (1.71)	8.0 (1.93)	8.1 (1.95)
心理コミュニケーション学科3年	6.5 (2.56)	6.7 (1.93)	9.8 (1.67)	10.4 (1.52)	8.1 (1.82)	8.7 (1.69)
心理コミュニケーション学科4年	7.2 (2.39)	7.5 (2.34)	10.1 (1.68)	10.6 (1.74)	8.9 (1.48)	9.2 (1.67)
文化学科1年	8.4 (1.75)	7.8 (1.62)	10.4 (1.66)	10.0 (1.56)	9.5 (1.23)	8.5 (1.82)
文化学科2年	7.5 (1.75)	8.4 (1.64)	9.7 (1.53)	10.6 (1.29)	8.9 (1.36)	9.3 (1.74)
文化学科3年	8.5 (1.85)	7.4 (1.82)	10.6 (1.37)	10.7 (1.35)	8.9 (1.97)	8.6 (1.37)
文化学科4年	8.4 (2.2)	8.8 (2.24)	10.6 (1.32)	10.9 (1.16)	9.0 (1.66)	9.9 (1.89)
看護学科1年	8.8 (1.97)	8.2 (2.22)	9.7 (1.82)	9.8 (1.84)	9.8 (1.56)	9.7 (1.67)
看護学科2年	8.3 (2.33)	8.2 (1.82)	9.8 (1.59)	10.1 (1.62)	9.6 (1.73)	9.8 (1.28)
看護学科3年	8.6 (1.92)	7.3 (1.86)	9.8 (1.59)	9.1 (1.94)	9.9 (1.39)	9.4 (1.28)
看護学科4年	8.5 (1.97)	8.1 (2.18)	9.6 (1.73)	10.1 (1.26)	9.8 (1.56)	10.1 (1.37)
大学全体	7.9 (2.3)	7.6 (2.17)	10.0 (1.7)	10.1 (1.77)	9.1 (1.87)	9.1 (1.82)
助産学専攻科/看護学研究科	9.2 (1.29)	10.1 (0.54)	11.5 (0.75)	11.4 (0.66)	10.6 (1.9)	11.4 (0.92)
組織全体	7.9 (2.3)	7.6 (2.2)	10.2 (1.69)	10.2 (1.78)	9.3 (1.88)	9.3 (1.84)
	12点満点		12点満点		12点満点	

ディプロマ・ポリシーの認知については、12点中大学全体の平均は7.9、標準偏差は2.3、助産学専攻科/看護学研究科の平均は9.2、標準偏差は1.29であった。昨年度と比較して、全体の平均値が上がり、標準偏差も上がったことから、得点は高まったが、ばらつきが大きくなったと捉えられる。特に、心理コミュニケーション学科は全体的に得点上昇し、特に2年生は2.4点（6.8→9.2）、4年生は1.5点（6.7→8.2）と大きく上昇した。

文化学科は全体的に得点が下降し、特に3年は1.9点(8.4→6.5)と大きく下降していた。看護学科は概ね同等の得点であった。全体の中で最も得点が高かったのは、心理コミュニケーション学科2年であった。授業等を通じたディプロマ・ポリシーの学修が効果的であったことが推察される。学科別の傾向としては、心理コミュニケーション学科と看護学科、助産学／看護学研究科については、全体平均を上回るか同等程度の得点であり、ディプロマ・ポリシーの周知や認知が概ね十分になされていると考えられる。文化学科については、全学年で全体平均を下回っていることから、学生への周知の機会を増やす等の取り組みにより、学生の認知をさらに高めていくことが課題であるといえる。

入学満足度については、12点中大学全体の平均は10.0、標準偏差は1.7、助産学専攻科／看護学研究科の平均は11.5、標準偏差は0.75であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差の得点は同程度であった。最も得点が高かったのは助産学専攻科／看護学研究科であった。助産学専攻科／看護学研究科の学生は、本学に入学した目的や学びに対する期待がより明確であることが考えられ、そのことが入学満足度の高さに関連していることが考えられる。昨年度と比較すると、いずれの学科も概ね同等の得点であり、大きな変化は見られなかった。学科別の傾向としては、心理コミュニケーション学科と文化学科、助産学専攻科／看護学研究科の得点は、概ね全体平均を上回るか同程度であり、学生の教育環境やカリキュラムに対する満足度は良好であると考えられる。看護学科の得点は、どの学年も全体平均を若干下回っているが、学修内容の専門性が高い故に、入学後のミスマッチや学修のハードルを感じやすい可能性も考えられ、学生の教育環境やカリキュラムに対する満足度をさらに高めていくことが課題であるといえる。

キャリア計画については、12点中大学全体の平均は9.1、標準偏差は1.87、助産学専攻科／看護学研究科の平均は10.6、標準偏差は1.9であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差の得点は同程度であった。最も得点が高かったのは、助産学専攻科／看護学研究科であった。助産学専攻科／看護学研究科の学生は、本学に入学する時点で卒業後のキャリア像が明確であったことが想定され、そのことがキャリア計画の高さに関連しているのではないかと考えられる。昨年度と比較すると、いずれの学科も概ね同等の得点であり、大きな変化は見られなかった。学科別の傾向としては、文化学科と看護学科、助産学専攻科／看護学研究科の得点は、概ね全体平均を上回るか同程度であり、在学中に取得できる資格や卒業後に想定されるキャリアや人物像が明確であると考えられる。心理コミュニケーション学科の得点は、どの学年も全体平均を下回っており、特に1年生は1.3点、2年生は1.1点、3年生は1点と、全体平均を大きく下回る得点であった。取得できる資格や卒業後に想定されるキャリアや人物像をどのように学生に伝えていくか、今後さらなる工夫をして学生の意識を高めることが課題であるといえる。

②学生生活に対する考えを問う項目

(Q2) 教育満足度・将来のキャリアイメージ・健康成長意欲

設問 2 では、教育満足度（将来に向けて必要な学びが用意されていると思う、全体として本学の教育内容や教育方法に満足している、授業の内容や学びを通して、視野が広がった、自分の成績評価は妥当だと思う 計 4 項目）、将来のキャリアイメージ（希望の進路を目指して自分なりに努力している、卒業後の自分のキャリアや就職イメージがより鮮明になった、将来、何がやりたいのかまだはっきりしていない（逆転項目）計 3 項目）、健康・成長意欲（自分は健康であると思う、この 1 年の成長を実感している、自分は授業に積極的に参加している 計 3 項目）の計 10 項目について、回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問をランダム化して尋ねた。回答方法は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の 4 件法であり、「あてはまる」を 4 点、「あてはまらない」を 1 点として集計を行った。

2024 年度及び前年度の大学の学科・学年ごと、及び大学院と全体を集計した平均値（ μ ）及び標準偏差（ σ ）を記載する。

◆大学(昨年度比較)						
対象者層	教育満足度		将来のキャリアイメージ		健康・成長意欲	
	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)
	μ (σ)					
心理コミュニケーション学科1年	13.3 (1.96)	12.5 (2.5)	7.1 (2.26)	7.0 (1.9)	9.5 (1.42)	8.9 (1.85)
心理コミュニケーション学科2年	12.4 (2.25)	13.4 (1.88)	6.7 (1.72)	6.7 (1.98)	8.4 (1.87)	9.2 (1.9)
心理コミュニケーション学科3年	12.7 (2.32)	13.3 (1.59)	7.7 (2.12)	8.2 (2.01)	9.2 (2.16)	9.8 (1.83)
心理コミュニケーション学科4年	13.6 (1.66)	13.7 (1.88)	8.9 (1.94)	9.0 (2.25)	9.6 (1.97)	9.4 (1.92)
文化学科1年	13.8 (1.81)	13.3 (1.82)	7.2 (1.66)	6.8 (1.96)	9.3 (2.02)	9.0 (2.26)
文化学科2年	12.7 (1.44)	12.9 (1.86)	6.9 (2.02)	6.9 (1.8)	9.5 (1.71)	9.6 (1.72)
文化学科3年	14.2 (1.7)	13.5 (1.72)	8.6 (1.85)	7.2 (2.04)	9.9 (1.57)	9.3 (1.76)
文化学科4年	13.9 (1.85)	14.4 (1.45)	8.5 (2.15)	9.9 (1.83)	9.8 (1.44)	9.9 (1.87)
看護学科1年	12.9 (2.04)	12.8 (1.98)	9.0 (1.52)	8.9 (1.92)	9.8 (1.58)	10.0 (1.76)
看護学科2年	12.5 (2.59)	12.8 (1.74)	8.4 (1.34)	9.1 (1.91)	9.7 (1.66)	10.1 (1.22)
看護学科3年	13.0 (1.75)	12.5 (1.97)	9.1 (1.8)	8.4 (1.62)	10.3 (1.65)	9.3 (1.89)
看護学科4年	12.5 (2.48)	13.5 (1.57)	9.3 (1.68)	9.8 (1.85)	9.9 (1.69)	10.1 (1.75)
大学全体	13.0 (2.15)	13.2 (1.97)	8.2 (2.04)	8.2 (2.23)	9.6 (1.82)	9.6 (1.86)
助産学専攻科/看護学研究科	15.2 (1.29)	14.4 (1.36)	9.4 (1.64)	9.6 (2.06)	11.1 (1.14)	10.7 (1)
組織全体	13.2 (2.14)	13.3 (2.07)	8.4 (1.98)	8.4 (2.22)	9.7 (1.77)	9.7 (1.8)
	16点満点		12点満点		12点満点	

教育満足度については、16 点中大学全体の平均は 13.0、標準偏差は 2.15、助産学専攻科／看護学研究科の平均は 15.2、標準偏差は 1.29 であった。昨年度と比較して、全体の平均値が若干下がり、標準偏差は上がったことから、全体として教育満足度は若干低下したが、得点のばらつきが大きくなっていることが窺える。文化学科は全体的に得点の上昇

し、特に文化学科3年は昨年より得点が1.3点(12.9→14.2)と大きく上昇していた。学年が上がり、学生の関心にあった専門的な学びが十分に行われていることが推察される。最も得点が高かったのは助産学専攻科／看護学研究科であった。助産学専攻科／看護学研究科では、高度な専門教育や指導が行われていることが、学生の教育満足度の高さに関連しているのではないかと考えられる。また、学科別の特徴としては、文化学科は概ね全体平均を上回り、心理コミュニケーション学科と看護学科は概ね全体平均と同程度であった。それぞれの学科において、学生の関心に合った学びが行われていると考えられる。

将来のキャリアイメージについては、12点中大学全体の平均は8.2、標準偏差は2.04、助産学専攻科／看護学研究科の平均は9.4、標準偏差は1.64であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差の得点は同程度であった。最も得点が高かったのは助産学専攻科／看護学研究科であった。助産学専攻科／看護学研究科の学生は、入学時点から将来のキャリアへのイメージがより具体的であることが考えられる。また、学科別の特徴としては、心理コミュニケーション学科は1年から3年で、文化学科は1年と2年で、全体平均を下回っていたが、学年が上がるにつれて将来のキャリアイメージの得点が高くなる傾向が見られた。学年が上がって実際の就職活動が始まることに伴い、将来のキャリアイメージを明確に描く機会が増えてきていると考えられる。看護学科はどの学年も全体平均を上回っていた。入学時点で多くの学生が将来のキャリアイメージを明確に描いていると考えられる。

健康・成長意欲については、12点中大学全体の平均は9.6、標準偏差は1.82、助産学専攻科／看護学研究科の平均は11.1、標準偏差は1.14であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差の得点は同程度であった。最も得点が高かったのは助産学専攻科／看護学研究科であった。助産学専攻科／看護学研究科の学生は、学ぶ内容の専門性や将来像が明確であることに伴い、健康・成長意欲が高いことが考えられる。また、学科別の特徴としては、心理コミュニケーション学科は全体平均を若干下回るか同程度であり、学校生活の中で自らの健康や成長、主体性を意識できるような機会がやや少ないものの、普段の学校生活の中で概ね得られていると考えられる。文化学科は、1年と2年が全体平均を下回り、3年と4年が全体平均を上回っていた。学年が上がるにつれ、自らの健康や成長、主体性を意識する機会が増えていることが窺える。看護学科では、全ての学年で全体平均を上回っており、学ぶ内容の専門性と関連して自らの健康や成長、主体性を意識できるような機会が多いことが推察される。

(Q3) 専任教員との関係・友人関係・学内での居場所

設問 3 では、専任教員との関係（専任教員と話をしたり関わったりする時間がある、困ったときに相談できる先生がいる、努力したことを認めてくれる教員がいる、指導教員やゼミの教員から適切な指導を受けている 計 4 項目）、友人関係（学内には気軽に話せる友人がいる、協力してくれるような友人がいる、学内に自分の本音を話せる友達がいる、昼食時や休み時間などは、ひとりでいることが多い（逆転項目）計 4 項目）、学内での居場所（学内に一人で過ごせる場所がある、大学の中に自分の居場所がある、大学・短大の雰囲気が気に入っている、周囲の目が気になって、気疲れすることがある（逆転項目）計 4 項目）の計 12 項目について、回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問をランダム化して尋ねた。回答方法は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の 4 件法であり、「あてはまる」を 4 点、「あてはまらない」を 1 点として集計を行った。

2024 年度及び前年度の大学の学科・学年ごと、及び大学院と全体を集計した平均値（ μ ）及び標準偏差（ σ ）を記載する。

◆大学(昨年度比較)						
対象者層	専任教員との関係		友人関係		学内での居場所	
	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)	(2024年度)	(前年度)
	μ (σ)					
心理コミュニケーション学科1年	11.8 (2.63)	11.4 (2.76)	12.8 (3.14)	13.6 (2.47)	11.8 (2.06)	11.7 (1.97)
心理コミュニケーション学科2年	11.0 (2.97)	12.4 (2.58)	12.1 (3.51)	13.1 (2.98)	11.6 (2.81)	12.4 (2.4)
心理コミュニケーション学科3年	11.9 (3.07)	13.1 (2.24)	12.3 (3.29)	12.1 (3.34)	11.5 (2.69)	12.2 (2.36)
心理コミュニケーション学科4年	13.4 (2.64)	14.0 (2.19)	11.4 (3.53)	12.3 (3.32)	12.2 (2.67)	12.7 (2.97)
文化学科1年	11.4 (1.96)	11.5 (2.94)	12.3 (3.27)	13.6 (2.36)	11.7 (2.15)	12.1 (2.33)
文化学科2年	11.4 (2.55)	11.6 (1.78)	13.4 (1.99)	11.8 (3.3)	11.9 (2.06)	11.5 (2.25)
文化学科3年	13.2 (2.12)	14.0 (1.76)	13.3 (1.96)	13.2 (3.54)	13.1 (2.07)	11.9 (2.15)
文化学科4年	12.9 (2.75)	14.7 (1.6)	12.0 (2.5)	13.2 (2.55)	12.1 (1.9)	13.2 (1.89)
看護学科1年	11.5 (2.63)	10.3 (3.28)	13.7 (2.1)	14.2 (2.09)	11.5 (2.12)	11.8 (2.47)
看護学科2年	11.0 (2.98)	10.8 (2.93)	13.5 (2.49)	14.2 (1.78)	12.1 (1.89)	11.2 (2.78)
看護学科3年	11.8 (2.51)	12.2 (2.42)	14.2 (1.93)	13.5 (2.01)	11.8 (2.54)	10.3 (2.75)
看護学科4年	12.4 (2.96)	12.8 (1.98)	13.5 (2.4)	12.6 (3.01)	11.4 (2.22)	10.8 (2.58)
大学全体	11.9 (2.83)	12.2 (2.84)	12.9 (2.91)	13.2 (2.82)	11.8 (2.36)	11.8 (2.54)
助産学専攻科/看護学研究科	15.2 (1.23)	14.7 (1.55)	13.4 (2.37)	12.7 (2.24)	14.0 (1.24)	11.4 (2.33)
組織全体	12.3 (2.8)	12.4 (2.84)	13.2 (2.83)	13.4 (2.77)	12.1 (2.32)	11.9 (2.5)
	16点満点		16点満点		16点満点	

専任教員との関係については、16 点中大学全体の平均は 11.9、標準偏差は 2.83、助産学専攻科／看護学研究科の平均は 15.2、標準偏差は 1.23 であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差は同程度であった。最も得点が高かったのは、助産学専攻科／看護学研究科であった。少人数での指導体制等により、満足度が高くなっていることが考えられる。また、どの学科でも学年が上がるにつれ、より得点が高くなる傾向が見られた。学年が上がると、学びの内容がより専門的になり、少人数のゼミや実習等が始まることで、専任教員と関わる機会がより増加することが結果に影響していることが考えられる。

友人関係については、16 点中大学全体の平均は 12.9、標準偏差は 2.91、助産学専攻科

／看護学研究科の平均は 13.4、標準偏差は 2.37 であった。昨年度と比較して、全体の平均値と標準偏差の得点は同程度であった。最も得点が高かったのは看護学科 3 年であった。また、看護学科はいずれの学年も、全体平均を上回っていた。忙しい学生生活を送る上で、良好な友人関係が支えになっていることが窺える。また、心理コミュニケーション学科は全体平均を若干下回るか同程度であった。特に 2 年生は前年度と比較して 1.5 点 (13.6→12.1) 低下していた。心理コミュニケーション学科では 2 年生からコースが分かれ、人間関係が若干変化すること、また人間関係が苦手な学生や、あっさりした人間関係を好む学生の存在も示唆されるが、人間関係にトラブルやストレスを生じている可能性もあり、注意を払う必要がある。また、4 年生は全体平均を 1.5 点下回っていたが、4 年生は履修授業が減少し、友人との関わり自体が減少することも影響していることが考えられる。文化学科は 2 年と 3 年が全体平均を上回り、1 年と 4 年が全体平均を下回っていた。特に 3 年生は前年度と比較して 1.5 点 (11.8→13.3) 上昇しており、友人関係がより深まったことが示唆される。一方、4 年生は前年度と比較して 1.2 点 (13.2→12.0) 下降していたが、心理と同じく履修授業が減少し、友人との関わり自体が減少することが影響しているのではないかと考えられる。

学内での居場所については、16 点中大学全体の平均は 11.8、標準偏差は 2.36、助産学専攻科／看護学研究科の平均は 14.0、標準偏差は 1.24 であった。昨年度と比較して、大学の全体の平均値と標準偏差は同程度であったが、助産学専攻科／看護学研究科の平均は大幅に上昇し (11.4→14.0)、標準偏差は下降した (2.33→1.24)。すなわち、得点のばらつきが減り、高い得点に集中したといえる。最も得点が高かったのも、助産学専攻科／看護学研究科であった。学内での適切な居場所を持つことができるようになっている学生が多かったと推察される。また、どの学科も全体平均から大幅に下回る学年はなく、学生は概ね学内に一人でいられる場所や学内での居場所を確保できていると考えられる。また、特に文化学科の 3 年生は昨年度に比べて 1.6 点 (11.5→13.1) 上昇しており、学内で過ごすことを居心地よく感じている学生が増えていることが示唆される。

③時間の使い方に関する項目

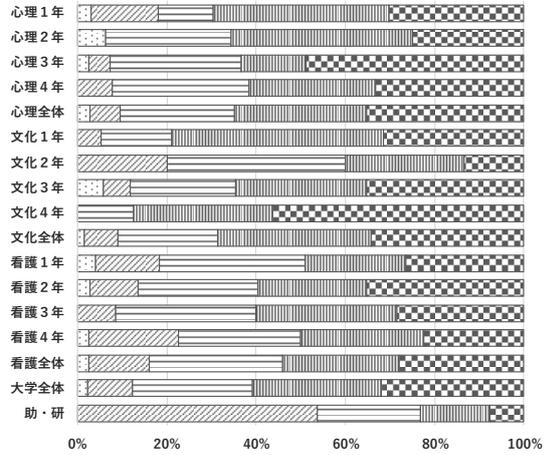
(Q4) 1 日当たりの時間の使い方 (SNS・通学・読書・自習・交友)

設問 4 では、学生生活に関わる【SNS 利用】【通学】【読書】【自習】【交友】について、1 日当たりどのくらいの時間を使っているかを尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダムイズした。回答方法は、「行わない」「1 時間未満」「1～2 時間」「2～3 時間」「3 時間以上」の 5 件法である。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合 (パーセンテージ) を右側の図に記載する。

凡例： □行わない □1時間未満 □1～2時間 □2～3時間 □3時間以上

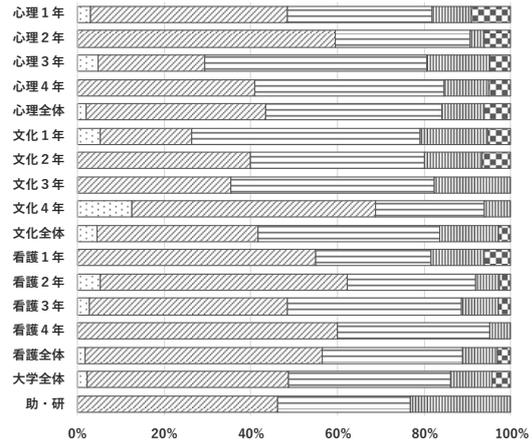
1. SNS(Line や Twitter、Instagram など) の投稿、閲覧、操作

	行わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	合計
心理1年	1	5	4	13	10	33
心理2年	2	0	9	13	8	32
心理3年	1	2	12	6	20	41
心理4年	0	3	12	11	13	39
心理全体	4	10	37	43	51	145
文化1年	0	1	3	9	6	19
文化2年	0	3	6	4	2	15
文化3年	1	1	4	5	6	17
文化4年	0	0	2	5	9	16
文化全体	1	5	15	23	23	67
看護1年	2	7	16	11	13	49
看護2年	1	4	10	9	13	37
看護3年	0	3	11	11	10	35
看護4年	1	8	11	11	9	40
看護全体	4	22	48	42	45	161
大学全体	9	37	100	108	119	373
助・研	0	7	3	2	1	13



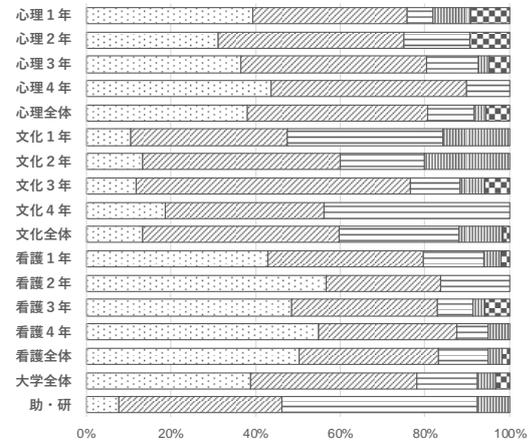
2. 往復の通学

	行わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	合計
心理1年	1	15	11	3	3	33
心理2年	0	19	10	1	2	32
心理3年	2	10	21	6	2	41
心理4年	0	16	17	4	2	39
心理全体	3	60	59	14	9	145
文化1年	1	4	10	3	1	19
文化2年	0	6	6	2	1	15
文化3年	0	6	8	3	0	17
文化4年	2	9	4	1	0	16
文化全体	3	25	28	9	2	67
看護1年	0	27	13	6	3	49
看護2年	2	21	11	2	1	37
看護3年	1	16	14	3	1	35
看護4年	0	24	14	2	0	40
看護全体	3	88	52	13	5	161
大学全体	9	173	139	36	16	373
助・研	0	6	4	3	0	13



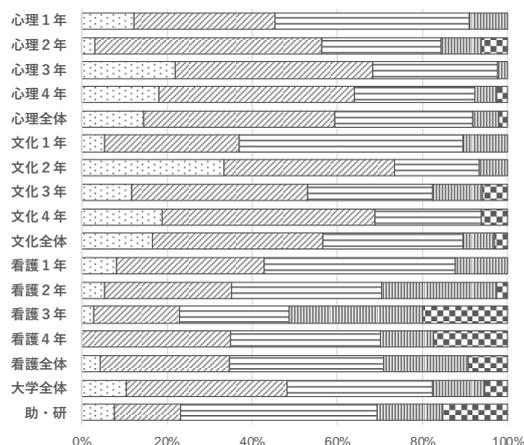
3. 読書 (電子書籍を含む)

	行わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	合計
心理1年	13	12	2	3	3	33
心理2年	10	14	5	0	3	32
心理3年	15	18	5	1	2	41
心理4年	17	18	4	0	0	39
心理全体	55	62	16	4	8	145
文化1年	2	7	7	3	0	19
文化2年	2	7	3	3	0	15
文化3年	2	11	2	1	1	17
文化4年	3	6	7	0	0	16
文化全体	9	31	19	7	1	67
看護1年	21	18	7	2	1	49
看護2年	21	10	6	0	0	37
看護3年	17	12	3	1	2	35
看護4年	22	13	3	2	0	40
看護全体	81	53	19	5	3	161
大学全体	145	146	54	16	12	373
助・研	1	5	6	1	0	13



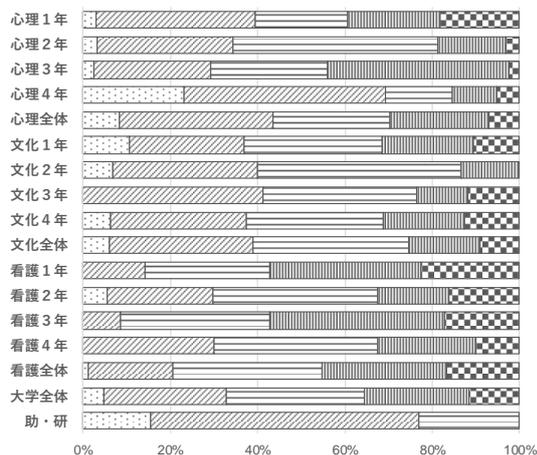
4. 事前学習、事後学習などの自習

	行わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	合計
心理1年	4	11	15	3	0	33
心理2年	1	17	9	3	2	32
心理3年	9	19	12	1	0	41
心理4年	7	18	11	2	1	39
心理全体	21	65	47	9	3	145
文化1年	1	6	10	2	0	19
文化2年	5	6	3	1	0	15
文化3年	2	7	5	2	1	17
文化4年	3	8	4	0	1	16
文化全体	11	27	22	5	2	67
看護1年	4	17	22	6	0	49
看護2年	2	11	13	10	1	37
看護3年	1	7	9	11	7	35
看護4年	0	14	14	5	7	40
看護全体	7	49	58	32	15	161
大学全体	39	141	127	46	20	373
助・研	1	2	6	2	2	13



5. 友達との会話

	行わない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	合計
心理1年	1	12	7	7	6	33
心理2年	1	10	15	5	1	32
心理3年	1	11	11	17	1	41
心理4年	9	18	6	4	2	39
心理全体	12	51	39	33	10	145
文化1年	2	5	6	4	2	19
文化2年	1	5	7	2	0	15
文化3年	0	7	6	2	2	17
文化4年	1	5	5	3	2	16
文化全体	4	22	24	11	6	67
看護1年	0	7	14	17	11	49
看護2年	2	9	14	6	6	37
看護3年	0	3	12	14	6	35
看護4年	0	12	15	9	4	40
看護全体	2	31	55	46	27	161
大学全体	18	104	118	90	43	373
助・研	2	8	3	0	0	13



【SNS利用】については、2～3時間の利用者が最も多く、次いで3時間以上の利用者が多かった。【通学】については往復にかかる時間が1時間未満および1～2時間の学生が大半を占めた。【読書】は、1時間未満が最も多く、次いで読書しないという回答が多かった。【自習】は、1時間未満の学生が最も多く、次いで1～2時間であった。【交友】については、1時間未満が最も多く、次いで1～2時間が多かった。看護学科については、2～3時間という回答が最も多く、友人との会話を重視していることが窺える。

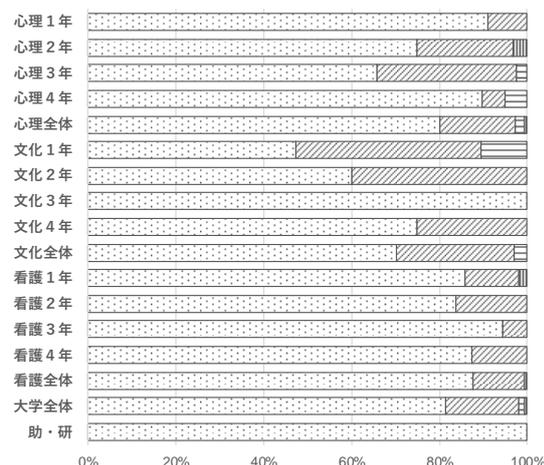
(Q5) 1日当たりの時間の使い方（学内活動・学外活動・ケアなど）

設問 5 では、学生生活のうち課外活動、プライベートな活動、ケアに関わる活動として【クラブ・サークル】【清泉祭の企画運営】【学生会】【ボランティア】【アルバイト】【学校以外の勉強】【友人と遊ぶ・趣味】【親兄弟の介護や世話】【家事】について、1日当たりどのくらいの時間を使っているかを尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダム化した。回答方法は、「行わない」「週に数日」「週の半分」「ほとんど毎日」の4件法である。大学の学科・学年ごと、及び大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合（パーセンテージ）を右側の図に記載する。

凡例： □ 行わない ▨ 週に数日 ▩ 週の半分 ■ ほとんど毎日

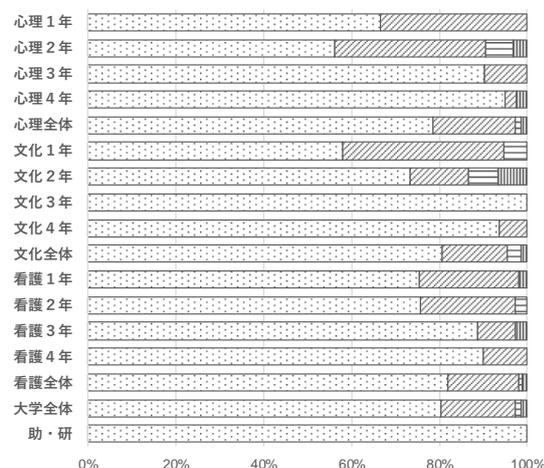
1. クラブ・サークル活動

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	30	3	0	0	33
心理2年	24	7	0	1	32
心理3年	27	13	1	0	41
心理4年	35	2	2	0	39
心理全体	116	25	3	1	145
文化1年	9	8	2	0	19
文化2年	9	6	0	0	15
文化3年	17	0	0	0	17
文化4年	12	4	0	0	16
文化全体	47	18	2	0	67
看護1年	42	6	0	1	49
看護2年	31	6	0	0	37
看護3年	33	2	0	0	35
看護4年	35	5	0	0	40
看護全体	141	19	0	1	161
大学全体	304	62	5	2	373
助・研	13	0	0	0	13



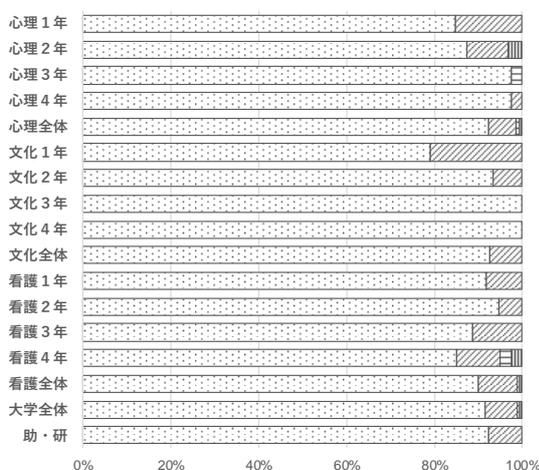
2. 清泉祭の企画運営（準備期間中の活動）

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	22	11	0	0	33
心理2年	18	11	2	1	32
心理3年	37	4	0	0	41
心理4年	37	1	0	1	39
心理全体	114	27	2	2	145
文化1年	11	7	1	0	19
文化2年	11	2	1	1	15
文化3年	17	0	0	0	17
文化4年	15	1	0	0	16
文化全体	54	10	2	1	67
看護1年	37	11	0	1	49
看護2年	28	8	1	0	37
看護3年	31	3	0	1	35
看護4年	36	4	0	0	40
看護全体	132	26	1	2	161
大学全体	300	63	5	5	373
助・研	13	0	0	0	13



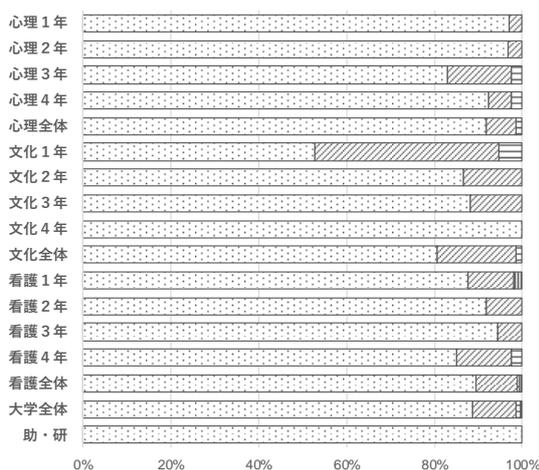
3. 学生会活動

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	28	5	0	0	33
心理2年	28	3	0	1	32
心理3年	40	0	1	0	41
心理4年	38	1	0	0	39
心理全体	134	9	1	1	145
文化1年	15	4	0	0	19
文化2年	14	1	0	0	15
文化3年	17	0	0	0	17
文化4年	16	0	0	0	16
文化全体	62	5	0	0	67
看護1年	45	4	0	0	49
看護2年	35	2	0	0	37
看護3年	31	4	0	0	35
看護4年	34	4	1	1	40
看護全体	145	14	1	1	161
大学全体	341	28	2	2	373
助・研	12	1	0	0	13



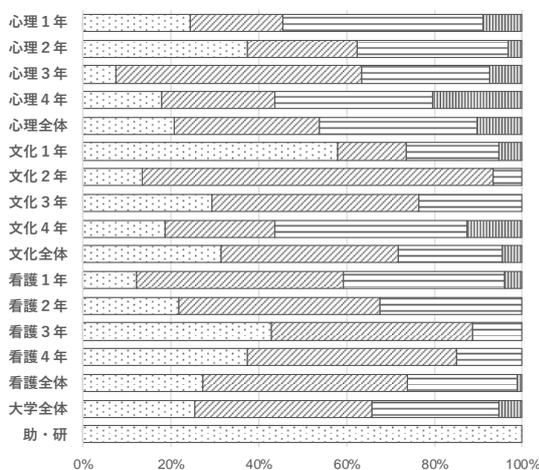
4. ボランティア活動

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	32	1	0	0	33
心理2年	31	1	0	0	32
心理3年	34	6	1	0	41
心理4年	36	2	1	0	39
心理全体	133	10	2	0	145
文化1年	10	8	1	0	19
文化2年	13	2	0	0	15
文化3年	15	2	0	0	17
文化4年	16	0	0	0	16
文化全体	54	12	1	0	67
看護1年	43	5	0	1	49
看護2年	34	3	0	0	37
看護3年	33	2	0	0	35
看護4年	34	5	1	0	40
看護全体	144	15	1	1	161
大学全体	331	37	4	1	373
助・研	13	0	0	0	13



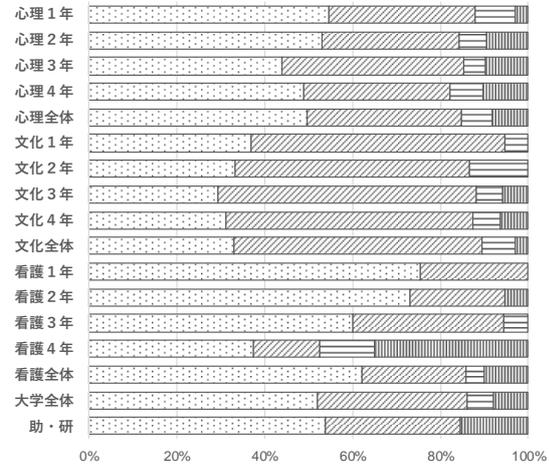
5. アルバイト

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	8	7	15	3	33
心理2年	12	8	11	1	32
心理3年	3	23	12	3	41
心理4年	7	10	14	8	39
心理全体	30	48	52	15	145
文化1年	11	3	4	1	19
文化2年	2	12	1	0	15
文化3年	5	8	4	0	17
文化4年	3	4	7	2	16
文化全体	21	27	16	3	67
看護1年	6	23	18	2	49
看護2年	8	17	12	0	37
看護3年	15	16	4	0	35
看護4年	15	19	6	0	40
看護全体	44	75	40	2	161
大学全体	95	150	108	20	373
助・研	13	0	0	0	13



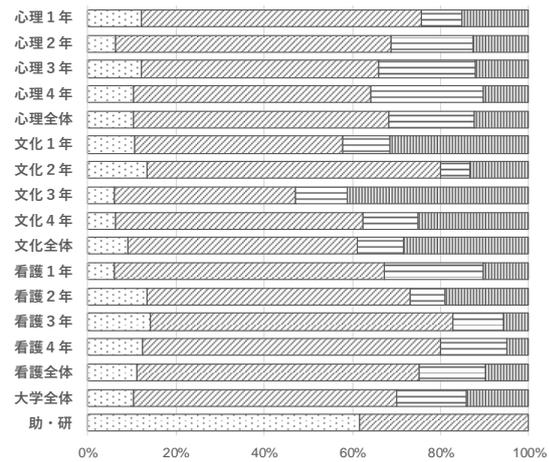
6. 学校以外の勉強（資格、語学、進学準備など）

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	18	11	3	1	33
心理2年	17	10	2	3	32
心理3年	18	17	2	4	41
心理4年	19	13	3	4	39
心理全体	72	51	10	12	145
文化1年	7	11	1	0	19
文化2年	5	8	2	0	15
文化3年	5	10	1	1	17
文化4年	5	9	1	1	16
文化全体	22	38	5	2	67
看護1年	37	12	0	0	49
看護2年	27	8	0	2	37
看護3年	21	12	2	0	35
看護4年	15	6	5	14	40
看護全体	100	38	7	16	161
大学全体	194	127	22	30	373
助・研	7	4	0	2	13



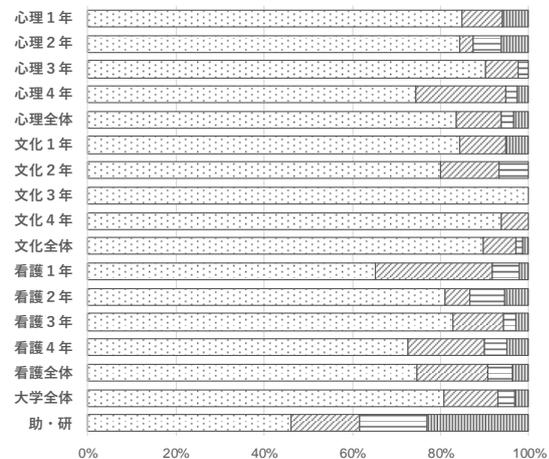
7. 友達と遊んだり、趣味などプライベートな活動

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	4	21	3	5	33
心理2年	2	20	6	4	32
心理3年	5	22	9	5	41
心理4年	4	21	10	4	39
心理全体	15	84	28	18	145
文化1年	2	9	2	6	19
文化2年	2	10	1	2	15
文化3年	1	7	2	7	17
文化4年	1	9	2	4	16
文化全体	6	35	7	19	67
看護1年	3	30	11	5	49
看護2年	5	22	3	7	37
看護3年	5	24	4	2	35
看護4年	5	27	6	2	40
看護全体	18	103	24	16	161
大学全体	39	222	59	53	373
助・研	8	5	0	0	13



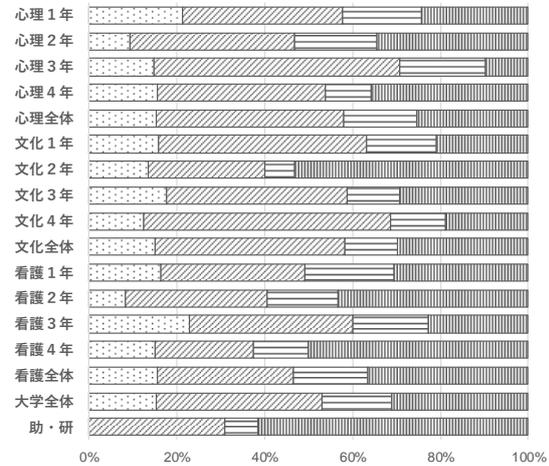
8. 親・兄弟などの介護や世話

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	28	3	0	2	33
心理2年	27	1	2	2	32
心理3年	37	3	1	0	41
心理4年	29	8	1	1	39
心理全体	121	15	4	5	145
文化1年	16	2	0	1	19
文化2年	12	2	1	0	15
文化3年	17	0	0	0	17
文化4年	15	1	0	0	16
文化全体	60	5	1	1	67
看護1年	32	13	3	1	49
看護2年	30	2	3	2	37
看護3年	29	4	1	1	35
看護4年	29	7	2	2	40
看護全体	120	26	9	6	161
大学全体	301	46	14	12	373
助・研	6	2	2	3	13



9. 家事（家の手伝い、一人暮らしの炊事など）

	行わない	週に数日	週の半分	ほとんど毎日	合計
心理1年	7	12	6	8	33
心理2年	3	12	6	11	32
心理3年	6	23	8	4	41
心理4年	6	15	4	14	39
心理全体	22	62	24	37	145
文化1年	3	9	3	4	19
文化2年	2	4	1	8	15
文化3年	3	7	2	5	17
文化4年	2	9	2	3	16
文化全体	10	29	8	20	67
看護1年	8	16	10	15	49
看護2年	3	12	6	16	37
看護3年	8	13	6	8	35
看護4年	6	9	5	20	40
看護全体	25	50	27	59	161
大学全体	57	141	59	116	373
助・研	0	4	1	8	13



【クラブ・サークル】については、行わないという回答が最も多かったが、週に数日から週の半分ほど活動する学生も全体の1割強みられた。【清泉祭の企画運営】については、行わないという回答が最も多い割合を占めたが、1割強の学生が週に数日からほとんど毎日活動していた。これらは、清泉祭実行委員や清泉祭に参加した学生の割合であると考えられる。【学生会】や【ボランティア】については、1割程度の学生が週に数日以上活動をしていた。【アルバイト】については、週に数日行っている学生が最も多く、次いで週の半分行っている学生が多かった。1割程度の学生は、ほぼ毎日アルバイトをしていると回答した。【学校以外の勉強】については、行わない学生が最も多く、次いで週に数日行っているという学生が多かった。【友人と遊ぶ・趣味】については、週に数日と答える学生や、それ以上と答える学生が大部分であったが、行わないとの回答も1割ほど見られた。【親兄弟の介護や世話】については、2割程度の学生が、週に数日以上行っていると回答した。中には、ほぼ毎日と答えた学生も含まれており、ヤングケアラーとして日常的にケアを担っている学生は決して少ないとは言えない。【家事】については、週に数日行っている学生が最も多く、次いでほとんど毎日行っている学生が多かった。多くの学生が何らかの家事を一定程度行っていることが明らかになった。

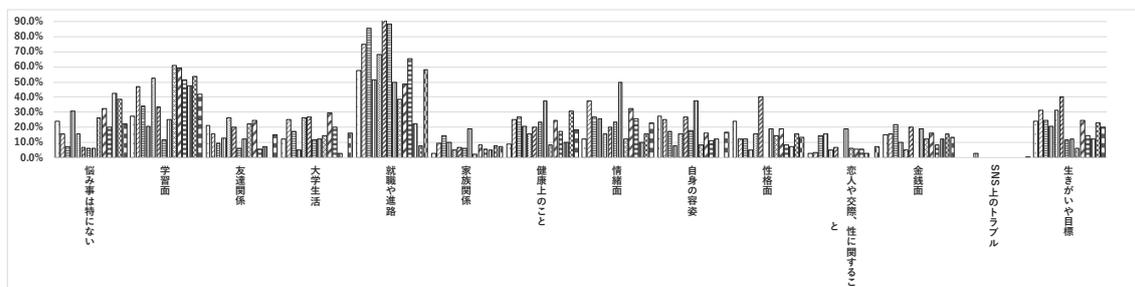
④悩みや悩んだ時の相談先に関する項目

(Q6) 現在の悩み事

設問6では、現在の悩み事で当てはまるものを複数回答可で尋ねた。悩み事の種類としては、【学習面】【友達関係】【大学生活】【就職や進路】【家族関係】【健康上のこと】【情緒面】【自身の容姿】【性格面】【恋人や交際、性に関すること】【金銭面】【SNS上のトラブル】【生きがいや目標】の13項目に加え、【悩み事は特にない】という選択肢も設けた。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を上表に、回答の割合（パーセンテージ）を下図に記載する。

対象者層	悩み事は特にない	学習面	友達関係	大学生活	就職や進路	家族関係	健康上のこと	情緒面	自身の容姿	性格面	恋人や交際、性に関すること	金銭面	SNS上のトラブル	生きがいや目標
心理1年	8	9	7	4	19	1	3	4	9	8	1	5	0	8
心理2年	5	15	5	8	24	3	8	12	8	4	1	5	0	10
心理3年	3	14	4	7	35	6	11	11	7	5	6	9	0	10
心理4年	12	8	5	2	20	4	8	10	3	2	6	4	1	8
心理全体	28	46	21	21	98	14	30	37	27	19	14	23	1	36
文化1年	3	10	5	5	13	1	3	3	3	3	1	1	0	6
文化2年	1	5	3	4	14	1	3	3	4	6	1	3	0	6
文化3年	1	2	1	2	15	1	4	4	3	0	0	0	0	2
文化4年	1	4	2	2	8	3	6	8	6	3	3	3	0	2
文化全体	6	21	11	13	50	6	16	18	16	12	5	7	0	16
看護1年	13	30	11	7	19	1	4	6	4	7	3	6	0	3
看護2年	12	22	9	11	18	3	9	12	6	7	2	6	0	9
看護3年	7	18	2	7	23	2	6	9	4	3	2	3	0	5
看護4年	17	19	3	1	9	2	4	4	5	3	1	5	0	5
看護全体	49	89	25	26	69	8	23	31	19	20	8	20	0	22
大学全体	83	156	57	60	217	28	69	86	62	51	27	50	1	74
専攻科/研究科	5	7	0	0	1	1	4	2	0	2	0	2	0	3

凡例： □心理1年 □心理2年 □心理3年 □心理4年 □文化1年 ■文化2年 □文化3年
□文化4年 □看護1年 □看護2年 □看護3年 ■看護4年 □専攻科/研究科



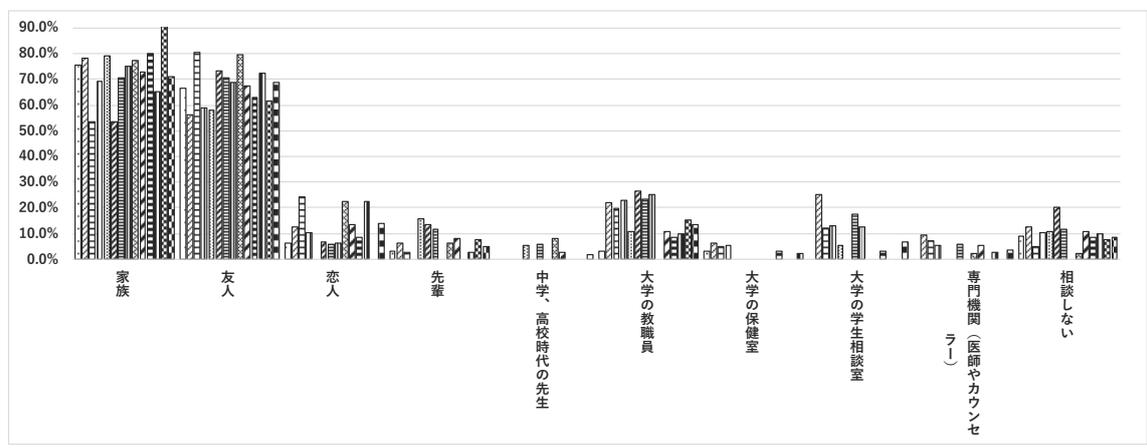
現在の悩み事については、【就職や進路】と回答した学生が最も多く、次いで【学習面】【情緒面】【生きがいや目標】などへの回答が多かった。その一方で、【悩み事は特にない】と回答した学生も一定数おり、悩みがある学生が複数の悩みを抱える傾向にあることが窺える。

(Q7) 悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先

設問 7 では、悩みや問題にぶつかった時、主に相談する先について尋ねた。相談先としては、【家族】【友人】【恋人】【先輩】【中学・高校時代の先生】【大学の教職員】【大学の保健室】【大学の学生相談室】【専門機関（医師やカウンセラー）】の 9 項目に加え、【相談しない】という選択肢も設けた。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を上の表に、回答の割合（パーセンテージ）を下の図に記載する。

対象者層	家族	友人	恋人	先輩	中学、高校時代の先生	大学の教職員	大学の保健室	大学の学生相談室	専門機関（医師やカウンセラー）	相談しない
心理1年	25	22	2	1	0	1	1	0	0	3
心理2年	25	18	4	2	0	7	2	8	3	4
心理3年	22	33	10	1	0	8	2	5	3	2
心理4年	27	23	4	0	0	9	2	5	2	4
心理全体	99	96	20	4	0	25	7	18	8	13
文化1年	15	11	0	3	1	2	0	1	0	2
文化2年	8	11	1	2	0	4	0	0	0	3
文化3年	12	12	1	2	1	4	0	3	1	2
文化4年	12	11	1	0	0	4	0	2	0	0
文化全体	47	45	3	7	2	14	0	6	1	7
看護1年	38	39	11	3	4	0	0	0	1	1
看護2年	27	25	5	3	1	4	0	0	2	4
看護3年	28	22	3	0	0	3	1	1	0	3
看護4年	26	29	9	1	0	4	0	0	1	4
看護全体	119	115	28	7	5	11	1	1	4	12
大学全体	265	256	51	18	7	50	8	25	13	32
専攻科/研究科	12	8	0	1	0	2	0	0	0	1

凡例： □心理1年 □心理2年 □心理3年 □心理4年 □文化1年 ■文化2年 □文化3年 □文化4年 □看護1年 □看護2年 □看護3年 ■看護4年 □専攻科/研究科



主に相談する先については、【家族】と【友人】という回答が大多数を占めた。身近な存在である家族や友人は、最も相談しやすい存在であることが窺える。次いで、【大学の教職員】に相談する者も一定数おり、学生にとって教職員の存在は重要であると考えられる。このほかに【大学の学生相談室】や【大学の保健室】、【専門機関（医師やカウンセラー）】に相談する者もあり、これらは家族や友人、教職員には相談しにくい悩みを相談できる場所として重要であると考えられる。一方、【相談しない】と回答した学生も 1 割程度みられたことから、悩みを抱えつつも自ら積極的に相談しないという学生が存在していることを認識する必要がある。

(2) 相談窓口・施設設備関連について問う項目

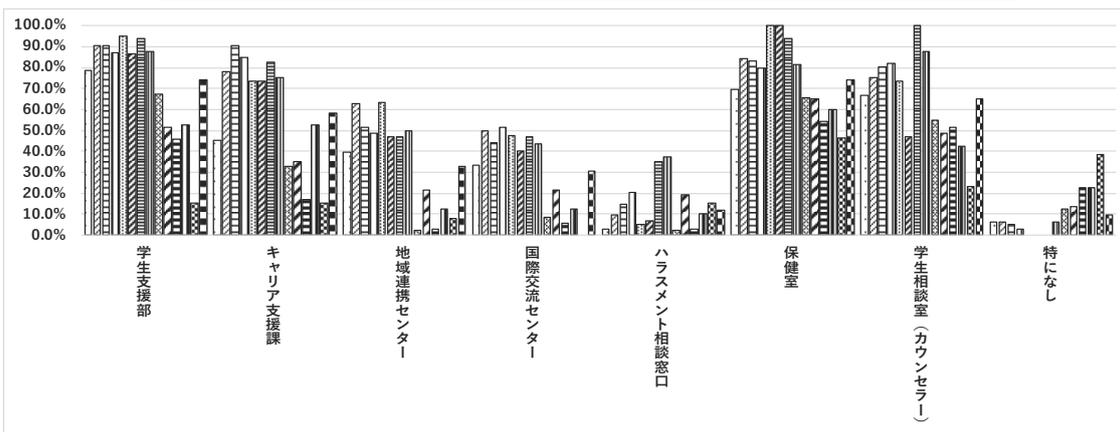
①学内の相談窓口の認知に関する項目

(Q8) 学内の相談窓口の認知度

設問 8 では、大学・短大にある各種相談窓口のうち、知っているものについて尋ねた。相談窓口としては、【学生支援部】【キャリア支援課】【地域連携センター】【国際交流センター】【ハラスメント相談窓口】【保健室】【学生相談室（カウンセラー）】の 7 項目に加え、【特になし】という選択肢も設けた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダム化した。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を上の表に、回答の割合（パーセンテージ）を下の図に記載する。

対象者層	学生支援部	キャリア支援課	地域連携センター国際交流センター	国際交流センター	ハラスメント相談窓口	保健室	学生相談室（カウンセラー）	特になし
心理1年	26	15	13	11	1	23	22	2
心理2年	29	25	20	16	3	27	24	2
心理3年	37	37	21	18	6	34	33	2
心理4年	34	33	19	20	8	31	32	1
心理全体	126	110	73	65	18	115	111	7
文化1年	18	14	12	9	1	19	14	0
文化2年	13	11	7	6	1	15	7	0
文化3年	16	14	8	8	6	16	17	0
文化4年	14	12	8	7	6	13	14	1
文化全体	61	51	35	30	14	63	52	1
看護1年	33	16	1	4	1	32	27	6
看護2年	19	13	8	8	7	24	18	5
看護3年	16	6	1	2	1	19	18	8
看護4年	21	21	5	5	4	24	17	9
看護全体	89	56	15	19	13	99	80	28
大学全体	276	217	123	114	45	277	243	36
専攻科/研究科	2	2	1	0	2	6	3	5

凡例： □心理1年 □心理2年 □心理3年 □心理4年 □文化1年 ■文化2年 □文化3年
□文化4年 □看護1年 □看護2年 □看護3年 ■看護4年 □専攻科/研究科



学内の相談窓口の認知については、【学生支援部】【保健室】については、ほとんどの学生が認知していた。また、【学生相談室（カウンセラー）】【キャリア支援課】についても多くの学生が、【地域連携センター】【国際交流センター】についても一定程度の認知している学生がいた。一方、【ハラスメント相談窓口】については認知度が低く、まだまだ周知が十分でないと考えられる。学生が何かあった時に自身を守ることができる相談場所を知っておくことは非常に重要であることから、一層の周知が求められよう。

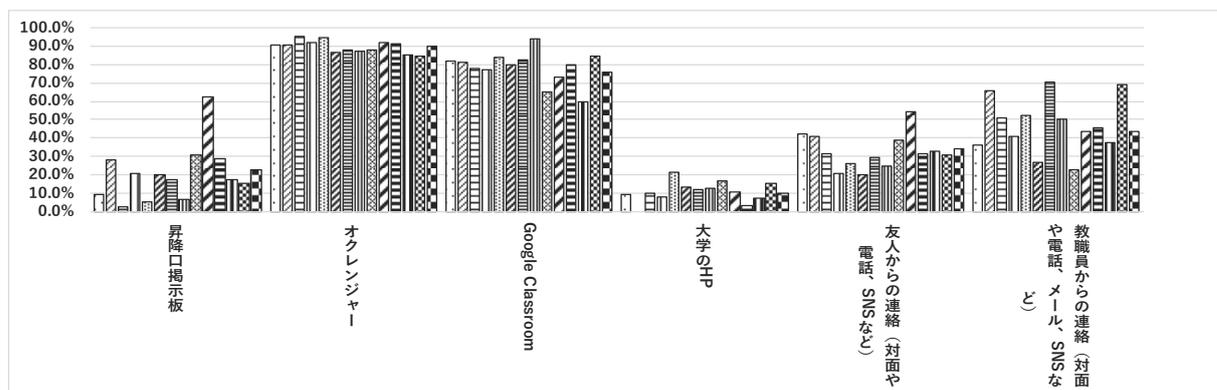
②本学からの連絡を受け取る手段に関する項目

(Q9) 本学からの連絡を受け取る手段

設問 9 では、大学・短大からの連絡・情報を主に何から得ているかを尋ねた。選択肢としては、【昇降口掲示板】【オクレンジャー】【Google Classroom】【大学の HP】【友人からの連絡】【教職員からの連絡】の 6 項目を設けた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダムイズした。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を上の表に、回答の割合（パーセンテージ）を下の図に記載する。

対象者層	昇降口掲示板	オクレンジャー	Google Classroom	大学のHP	友人からの連絡 (対面や電話、SNSなど)	教職員からの連絡 (対面や電話、メール、SNSなど)
心理1年	3	30	27	3	14	12
心理2年	9	29	26	0	13	21
心理3年	1	39	32	4	13	21
心理4年	8	36	30	3	8	16
心理全体	21	134	115	10	48	70
文化1年	1	18	16	4	5	10
文化2年	3	13	12	2	3	4
文化3年	3	15	14	2	5	12
文化4年	1	14	15	2	4	8
文化全体	8	60	57	10	17	34
看護1年	15	43	32	8	19	11
看護2年	23	34	27	4	20	16
看護3年	10	32	28	1	11	16
看護4年	7	34	24	3	13	15
看護全体	55	143	111	16	63	58
大学全体	84	337	283	36	128	162
専攻科/研究科	2	11	11	2	4	9

凡例： □心理1年 □心理2年 □心理3年 □心理4年 □文化1年 ■文化2年 □文化3年
□文化4年 □看護1年 □看護2年 □看護3年 ■看護4年 □専攻科/研究科



本学からの連絡を受け取る手段については、【オクレンジャー】と【Google Classroom】を多くの学生が利用している。また、フォーマル・インフォーマルな人的つながりによる【友人からの連絡】【教職員からの連絡】といった連絡手段を取っている学生も一定数いる。一方で、【昇降口掲示板】や【大学の HP】の利用者の数は少ないことがわかった。

③施設設備の利用に関する項目

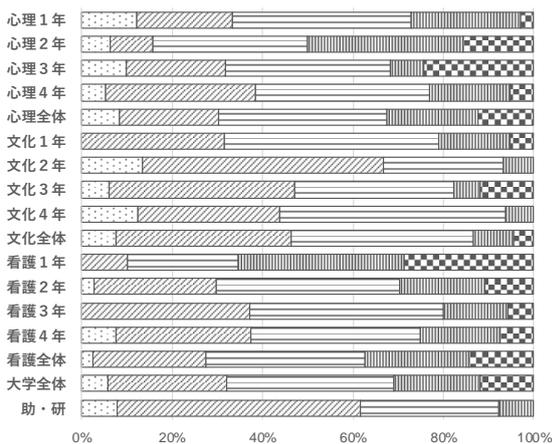
(Q10) 授業時間外の施設設備の利用

設問 10 では、授業時間外に大学の施設・設備として【図書館】【自習室等】【情報処理室】【実習演習設備】【食堂】【生協】【体育館】【ホール等くつろぎの空間】【空き教室】【保健室】をどの程度利用しているかを尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダム化した。回答方法は、「ほぼ毎日」「よく」「たまに」「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の 5 件法である。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合（パーセンテージ）を右側の図に記載する。

凡例： □ほぼ毎日 ▨よく □たまに ▩ほとんど利用しない ▩全く利用しない

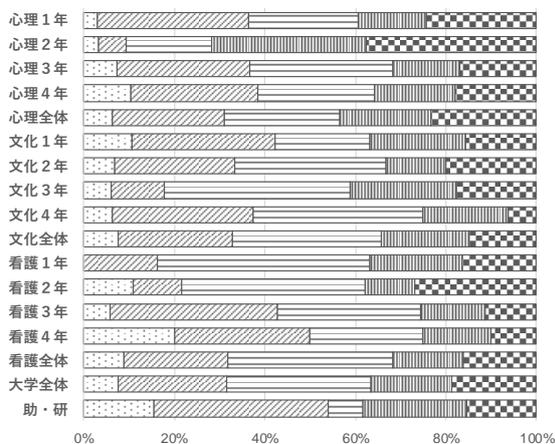
1. 図書館設備

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理 1 年	4	7	13	8	1	33
心理 2 年	2	3	11	11	5	32
心理 3 年	4	9	15	3	10	41
心理 4 年	2	13	15	7	2	39
心理全体	12	32	54	29	18	145
文化 1 年	0	6	9	3	1	19
文化 2 年	2	8	4	1	0	15
文化 3 年	1	7	6	1	2	17
文化 4 年	2	5	8	1	0	16
文化全体	5	26	27	6	3	67
看護 1 年	0	5	12	18	14	49
看護 2 年	1	10	15	7	4	37
看護 3 年	0	13	15	5	2	35
看護 4 年	3	12	15	7	3	40
看護全体	4	40	57	37	23	161
大学全体	21	98	138	72	44	373
助・研	1	7	4	1	0	13



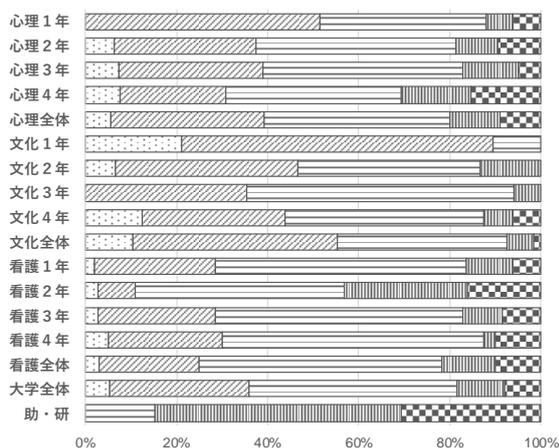
2. 自習室等、自主的な学習環境

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	1	11	8	5	8	33
心理2年	1	2	6	11	12	32
心理3年	3	12	13	6	7	41
心理4年	4	11	10	7	7	39
心理全体	9	36	37	29	34	145
文化1年	2	6	4	4	3	19
文化2年	1	4	5	2	3	15
文化3年	1	2	7	4	3	17
文化4年	1	5	6	3	1	16
文化全体	5	17	22	13	10	67
看護1年	0	8	23	10	8	49
看護2年	4	4	15	4	10	37
看護3年	2	13	11	5	4	35
看護4年	8	12	10	6	4	40
看護全体	14	37	59	25	26	161
大学全体	28	90	118	67	70	373
助・研	2	5	1	3	2	13



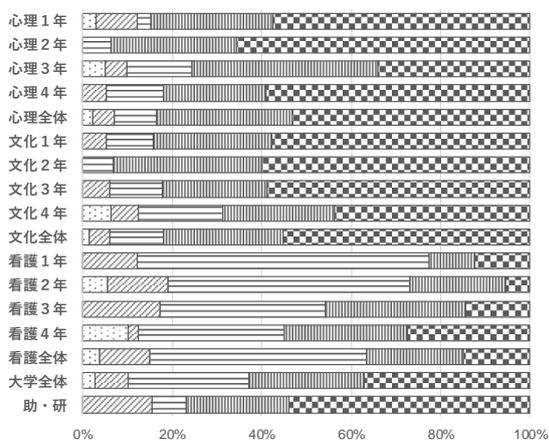
3. 情報処理室

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	0	17	12	2	2	33
心理2年	2	10	14	3	3	32
心理3年	3	13	18	5	2	41
心理4年	3	9	15	6	6	39
心理全体	8	49	59	16	13	145
文化1年	4	13	2	0	0	19
文化2年	1	6	6	2	0	15
文化3年	0	6	10	1	0	17
文化4年	2	5	7	1	1	16
文化全体	7	30	25	4	1	67
看護1年	1	13	27	5	3	49
看護2年	1	3	17	10	6	37
看護3年	1	9	19	3	3	35
看護4年	2	10	23	1	4	40
看護全体	5	35	86	19	16	161
大学全体	20	114	170	39	30	373
助・研	0	0	2	7	4	13



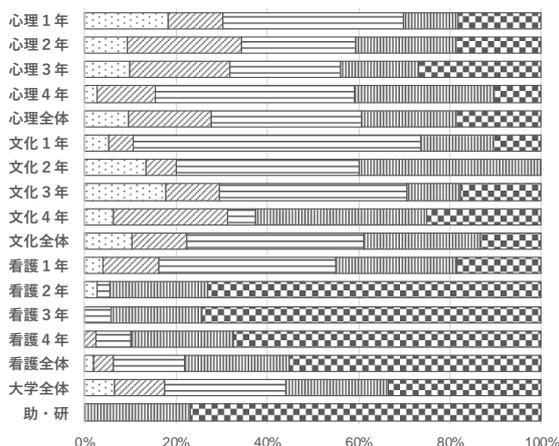
4. 実習・演習のための教室・設備

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	1	3	1	9	19	33
心理2年	0	0	2	9	21	32
心理3年	2	2	6	17	14	41
心理4年	0	2	5	9	23	39
心理全体	3	7	14	44	77	145
文化1年	0	1	2	5	11	19
文化2年	0	0	1	5	9	15
文化3年	0	1	2	4	10	17
文化4年	1	1	3	4	7	16
文化全体	1	3	8	18	37	67
看護1年	0	6	32	5	6	49
看護2年	2	5	20	8	2	37
看護3年	0	6	13	11	5	35
看護4年	4	1	13	11	11	40
看護全体	6	18	78	35	24	161
大学全体	10	28	100	97	138	373
助・研	0	2	1	3	7	13



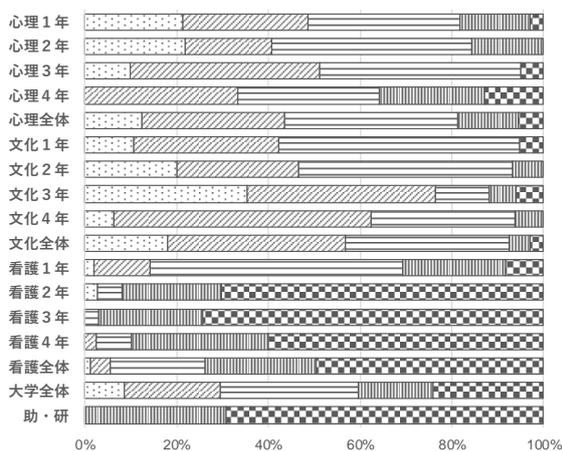
5. 食堂

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	6	4	13	4	6	33
心理2年	3	8	8	7	6	32
心理3年	4	9	10	7	11	41
心理4年	1	5	17	12	4	39
心理全体	14	26	48	30	27	145
文化1年	1	1	12	3	2	19
文化2年	2	1	6	6	0	15
文化3年	3	2	7	2	3	17
文化4年	1	4	1	6	4	16
文化全体	7	8	26	17	9	67
看護1年	2	6	19	13	9	49
看護2年	1	0	1	8	27	37
看護3年	0	0	2	7	26	35
看護4年	0	1	3	9	27	40
看護全体	3	7	25	37	89	161
大学全体	24	41	99	84	125	373
助・研	0	0	0	3	10	13



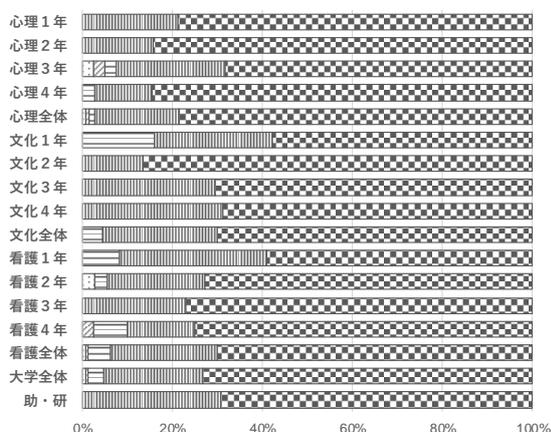
6. 生協

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	7	9	11	5	1	33
心理2年	7	6	14	5	0	32
心理3年	4	17	18	0	2	41
心理4年	0	13	12	9	5	39
心理全体	18	45	55	19	8	145
文化1年	2	6	10	0	1	19
文化2年	3	4	7	1	0	15
文化3年	6	7	2	1	1	17
文化4年	1	9	5	1	0	16
文化全体	12	26	24	3	2	67
看護1年	1	6	27	11	4	49
看護2年	1	0	2	8	26	37
看護3年	0	0	1	8	26	35
看護4年	0	1	3	12	24	40
看護全体	2	7	33	39	80	161
大学全体	32	78	112	61	90	373
助・研	0	0	0	4	9	13



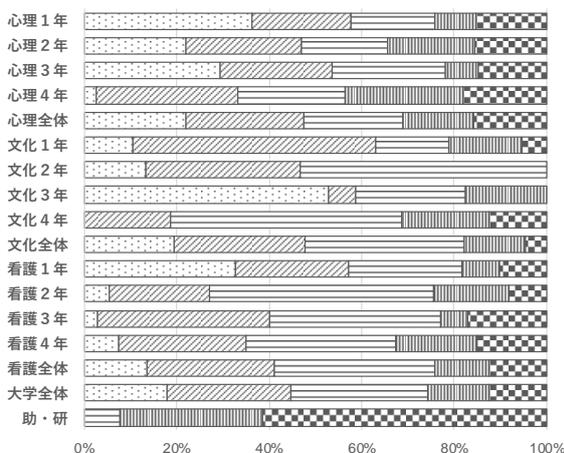
7. 体育館や運動設備

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	0	0	0	7	26	33
心理2年	0	0	0	5	27	32
心理3年	1	1	1	10	28	41
心理4年	0	0	1	5	33	39
心理全体	1	1	2	27	114	145
文化1年	0	0	3	5	11	19
文化2年	0	0	0	2	13	15
文化3年	0	0	0	5	12	17
文化4年	0	0	0	5	11	16
文化全体	0	0	3	17	47	67
看護1年	0	0	4	16	29	49
看護2年	1	0	1	8	27	37
看護3年	0	0	0	8	27	35
看護4年	0	1	3	6	30	40
看護全体	1	1	8	38	113	161
大学全体	2	2	13	82	274	373
助・研	0	0	0	4	9	13



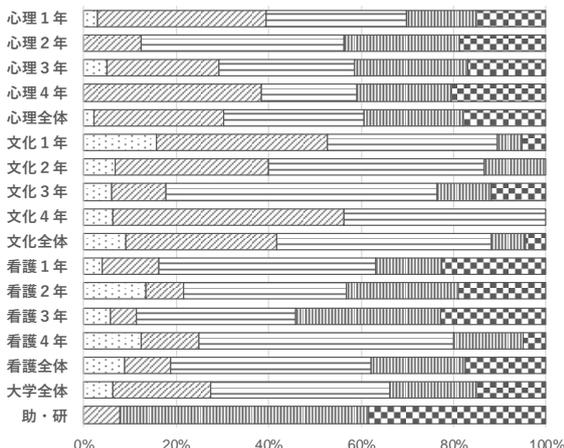
8. ホール等くつろぎの空間

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	12	7	6	3	5	33
心理2年	7	8	6	6	5	32
心理3年	12	10	10	3	6	41
心理4年	1	12	9	10	7	39
心理全体	32	37	31	22	23	145
文化1年	2	10	3	3	1	19
文化2年	2	5	8	0	0	15
文化3年	9	1	4	3	0	17
文化4年	0	3	8	3	2	16
文化全体	13	19	23	9	3	67
看護1年	16	12	12	4	5	49
看護2年	2	8	18	6	3	37
看護3年	1	13	13	2	6	35
看護4年	3	11	13	7	6	40
看護全体	22	44	56	19	20	161
大学全体	67	100	110	50	46	373
助・研	0	0	1	4	8	13



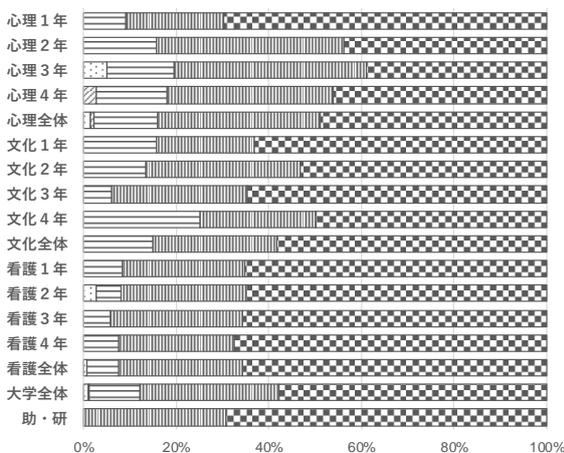
9. 空き教室

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	1	12	10	5	5	33
心理2年	0	4	14	8	6	32
心理3年	2	10	12	10	7	41
心理4年	0	15	8	8	8	39
心理全体	3	41	44	31	26	145
文化1年	3	7	7	1	1	19
文化2年	1	5	7	2	0	15
文化3年	1	2	10	2	2	17
文化4年	1	8	7	0	0	16
文化全体	6	22	31	5	3	67
看護1年	2	6	23	7	11	49
看護2年	5	3	13	9	7	37
看護3年	2	2	12	11	8	35
看護4年	5	5	22	6	2	40
看護全体	14	16	70	33	28	161
大学全体	23	79	145	69	57	373
助・研	0	1	0	7	5	13



10. 保健室

	ほぼ毎日	よく	たまに	ほとんど利用しない	全く利用しない	合計
心理1年	0	0	3	7	23	33
心理2年	0	0	5	13	14	32
心理3年	2	0	6	17	16	41
心理4年	0	1	6	14	18	39
心理全体	2	1	20	51	71	145
文化1年	0	0	3	4	12	19
文化2年	0	0	2	5	8	15
文化3年	0	0	1	5	11	17
文化4年	0	0	4	4	8	16
文化全体	0	0	10	18	39	67
看護1年	0	0	4	13	32	49
看護2年	1	0	2	10	24	37
看護3年	0	0	2	10	23	35
看護4年	0	0	3	10	27	40
看護全体	1	0	11	43	106	161
大学全体	3	1	41	112	216	373
助・研	0	0	0	4	9	13



施設・設備の利用頻度については、使用頻度に違いは見られるものの、概ねどの施設も使用されていることがわかった。

④施設設備の満足度に関する項目

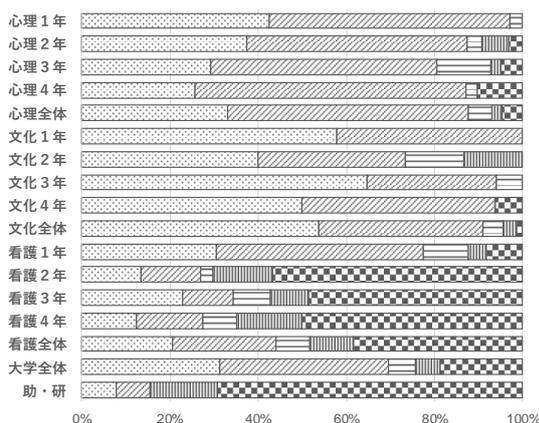
(Q11) 施設設備の満足度

設問 11 では、大学・短大の施設・設備のうち、【食堂や生協などの購買環境】【お手洗い】【図書館】【ホール等くつろぎの空間】【自習室等】【実習演習設備】【保健室】【情報処理室】【講義用教室と機器】【ICT 環境】【体育館】の満足度を尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダム化した。回答方法は、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「利用しない」の 5 件法である。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合（パーセンテージ）を右側の図に記載する。

凡例： 満足 やや満足 やや不満 不満 利用しない

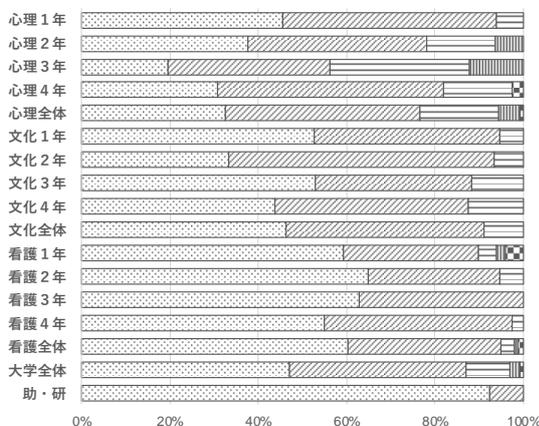
1. 食堂や生協などの購買環境

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理 1 年	14	18	1	0	0	33
心理 2 年	12	16	1	2	1	32
心理 3 年	12	21	5	1	2	41
心理 4 年	10	24	1	0	4	39
心理全体	48	79	8	3	7	145
文化 1 年	11	8	0	0	0	19
文化 2 年	6	5	2	2	0	15
文化 3 年	11	5	1	0	0	17
文化 4 年	8	7	0	0	1	16
文化全体	36	25	3	2	1	67
看護 1 年	15	23	5	2	4	49
看護 2 年	5	5	1	5	21	37
看護 3 年	8	4	3	3	17	35
看護 4 年	5	6	3	6	20	40
看護全体	33	38	12	16	62	161
大学全体	117	142	23	21	70	373
助・研	1	1	0	2	9	13



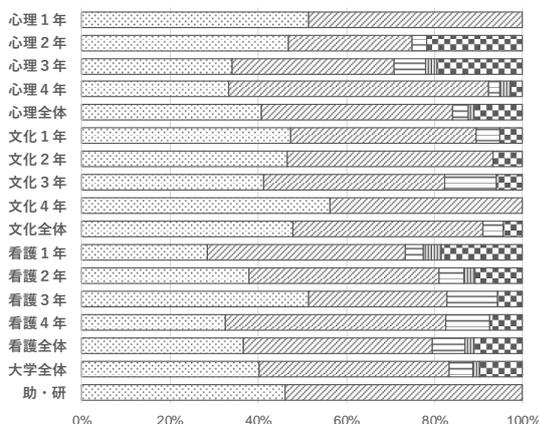
2. お手洗い

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理 1 年	15	16	2	0	0	33
心理 2 年	12	13	5	2	0	32
心理 3 年	8	15	13	5	0	41
心理 4 年	12	20	6	0	1	39
心理全体	47	64	26	7	1	145
文化 1 年	10	8	1	0	0	19
文化 2 年	5	9	1	0	0	15
文化 3 年	9	6	2	0	0	17
文化 4 年	7	7	2	0	0	16
文化全体	31	30	6	0	0	67
看護 1 年	29	15	2	1	2	49
看護 2 年	24	11	2	0	0	37
看護 3 年	22	13	0	0	0	35
看護 4 年	22	17	1	0	0	40
看護全体	97	56	5	1	2	161
大学全体	175	150	37	8	3	373
助・研	12	1	0	0	0	13



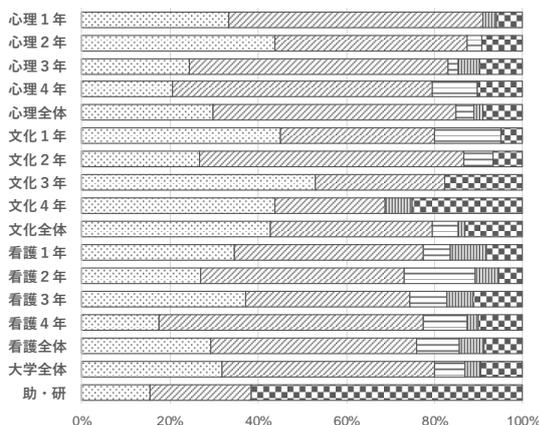
3. 図書館設備

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	17	16	0	0	0	33
心理2年	15	9	1	0	7	32
心理3年	14	15	3	1	8	41
心理4年	13	23	1	1	1	39
心理全体	59	63	5	2	16	145
文化1年	9	8	1	0	1	19
文化2年	7	7	0	0	1	15
文化3年	7	7	2	0	1	17
文化4年	9	7	0	0	0	16
文化全体	32	29	3	0	3	67
看護1年	14	22	2	2	9	49
看護2年	14	16	2	1	4	37
看護3年	18	11	4	0	2	35
看護4年	13	20	4	0	3	40
看護全体	59	69	12	3	18	161
大学全体	150	161	20	5	37	373
助・研	6	7	0	0	0	13



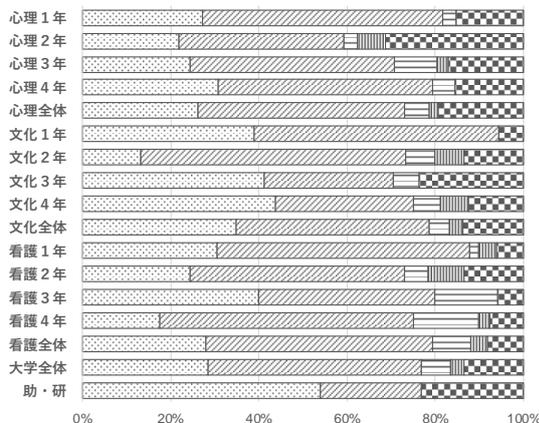
4. ホール等くつろぎの空間

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	11	19	0	1	2	33
心理2年	14	14	1	0	3	32
心理3年	10	24	1	2	4	41
心理4年	8	23	4	0	4	39
心理全体	43	80	6	3	13	145
文化1年	9	7	3	0	1	19
文化2年	4	9	1	0	1	15
文化3年	9	5	0	0	3	17
文化4年	7	4	0	1	4	16
文化全体	29	25	4	1	9	67
看護1年	17	21	3	4	4	49
看護2年	10	17	6	2	2	37
看護3年	13	13	3	2	4	35
看護4年	7	24	4	1	4	40
看護全体	47	75	16	9	14	161
大学全体	119	180	26	13	36	373
助・研	2	3	0	0	8	13



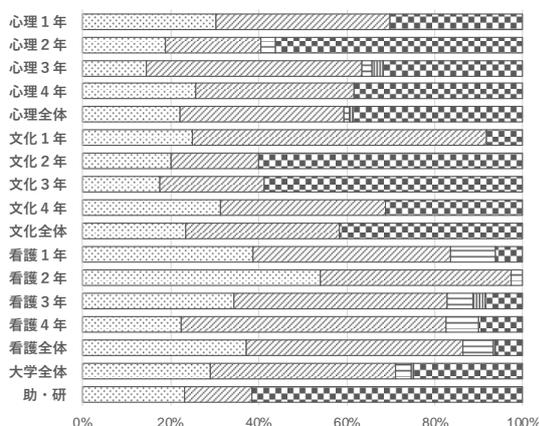
5. 自習室等、自主的な学習環境

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	18	1	0	5	33
心理2年	7	12	1	2	10	32
心理3年	10	19	4	1	7	41
心理4年	12	19	2	0	6	39
心理全体	38	68	8	3	28	145
文化1年	7	10	0	0	1	19
文化2年	2	9	1	1	2	15
文化3年	7	5	1	0	4	17
文化4年	7	5	1	1	2	16
文化全体	23	29	3	2	9	67
看護1年	15	28	1	2	3	49
看護2年	9	18	2	3	5	37
看護3年	14	14	5	0	2	35
看護4年	7	23	6	1	3	40
看護全体	45	83	14	6	13	161
大学全体	106	180	25	11	50	373
助・研	7	3	0	0	3	13



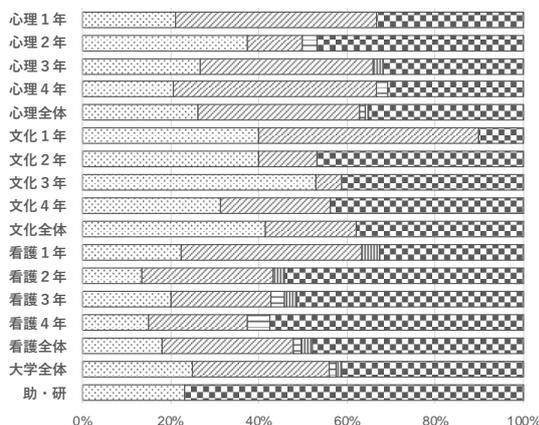
6. 実習・演習のための教室・設備

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	10	13	0	0	10	33
心理2年	6	7	1	0	18	32
心理3年	6	20	1	1	13	41
心理4年	10	14	0	0	15	39
心理全体	32	54	2	1	56	145
文化1年	3	8	0	0	1	19
文化2年	3	3	0	0	9	15
文化3年	3	4	0	0	10	17
文化4年	5	6	0	0	5	16
文化全体	14	21	0	0	25	67
看護1年	19	22	5	0	3	49
看護2年	20	16	1	0	0	37
看護3年	12	17	2	1	3	35
看護4年	9	24	3	0	4	40
看護全体	60	79	11	1	10	161
大学全体	106	154	13	2	91	373
助・研	3	2	0	0	8	13



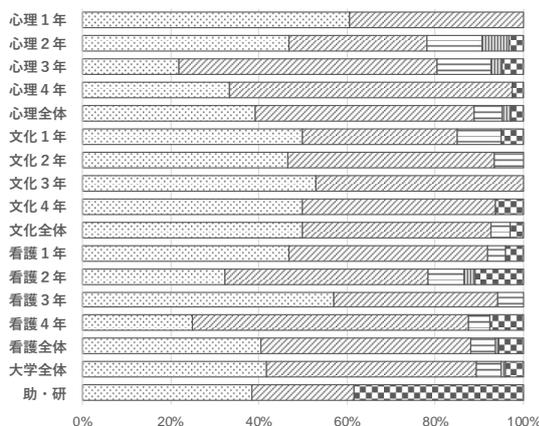
7. 保健室

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	7	15	0	0	11	33
心理2年	12	4	1	0	15	32
心理3年	11	16	0	1	13	41
心理4年	8	18	1	0	12	39
心理全体	38	53	2	1	51	145
文化1年	4	5	0	0	1	19
文化2年	6	2	0	0	7	15
文化3年	9	1	0	0	7	17
文化4年	5	4	0	0	7	16
文化全体	24	12	0	0	22	67
看護1年	11	20	0	2	16	49
看護2年	5	11	0	1	20	37
看護3年	7	8	1	1	18	35
看護4年	6	9	2	0	23	40
看護全体	29	48	3	4	77	161
大学全体	91	113	5	5	150	373
助・研	3	0	0	0	10	13



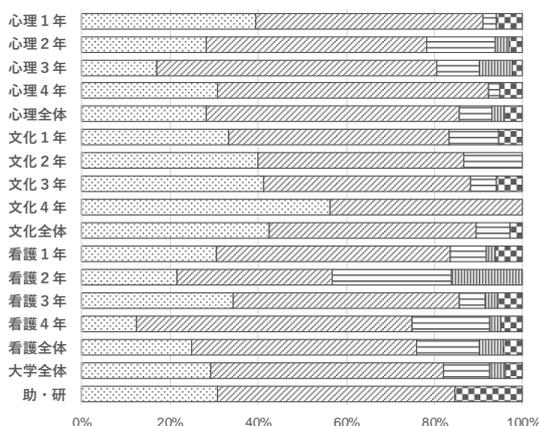
8. 情報処理室

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	20	13	0	0	0	33
心理2年	15	10	4	2	1	32
心理3年	9	24	5	1	2	41
心理4年	13	25	0	0	1	39
心理全体	57	72	9	3	4	145
文化1年	10	7	2	0	1	19
文化2年	7	7	1	0	0	15
文化3年	9	8	0	0	0	17
文化4年	8	7	0	0	1	16
文化全体	34	29	3	0	2	67
看護1年	23	22	2	0	2	49
看護2年	12	17	3	1	4	37
看護3年	20	13	2	0	0	35
看護4年	10	25	2	0	3	40
看護全体	65	77	9	1	9	161
大学全体	156	178	21	4	15	373
助・研	5	3	0	0	5	13



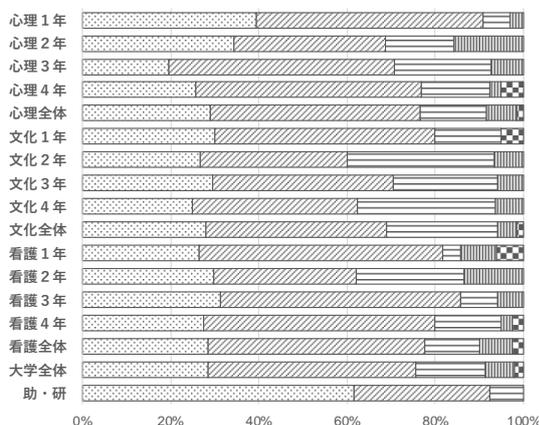
9. 講義用の教室とその教室機器

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	13	17	1	0	2	33
心理2年	9	16	5	1	1	32
心理3年	7	26	4	3	1	41
心理4年	12	24	1	0	2	39
心理全体	41	83	11	4	6	145
文化1年	6	9	2	0	1	19
文化2年	6	7	2	0	0	15
文化3年	7	8	1	0	1	17
文化4年	9	7	0	0	0	16
文化全体	28	31	5	0	2	67
看護1年	15	26	4	1	3	49
看護2年	8	13	10	6	0	37
看護3年	12	18	2	1	2	35
看護4年	5	25	7	1	2	40
看護全体	40	82	23	9	7	161
大学全体	109	196	39	13	15	373
助・研	4	7	0	0	2	13



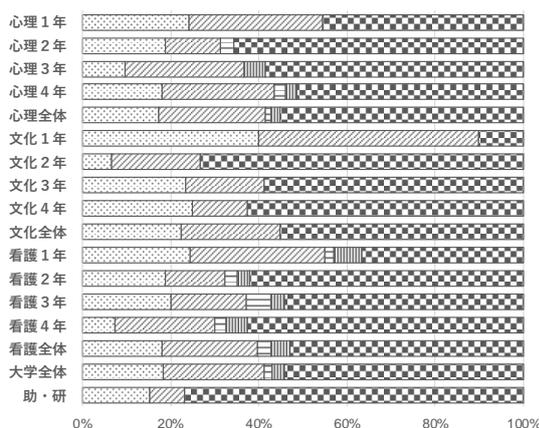
10. オクレンジャーや電子掲示板などの ICT 環境

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	13	17	2	1	0	33
心理2年	11	11	5	5	0	32
心理3年	8	21	9	3	0	41
心理4年	10	20	6	1	2	39
心理全体	42	69	22	10	2	145
文化1年	6	10	3	0	1	19
文化2年	4	5	5	1	0	15
文化3年	5	7	4	1	0	17
文化4年	4	6	5	1	0	16
文化全体	19	28	17	3	1	67
看護1年	13	27	2	4	3	49
看護2年	11	12	9	5	0	37
看護3年	11	19	3	2	0	35
看護4年	11	21	6	1	1	40
看護全体	46	79	20	12	4	161
大学全体	107	176	59	25	7	373
助・研	8	4	1	0	0	13



11. 体育館や運動設備

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	8	10	0	0	15	33
心理2年	6	4	1	0	21	32
心理3年	4	11	0	2	24	41
心理4年	7	10	1	1	20	39
心理全体	25	35	2	3	80	145
文化1年	4	5	0	0	1	19
文化2年	1	3	0	0	11	15
文化3年	4	3	0	0	10	17
文化4年	4	2	0	0	10	16
文化全体	13	13	0	0	32	67
看護1年	12	15	1	3	18	49
看護2年	7	5	1	1	23	37
看護3年	7	6	2	1	19	35
看護4年	3	9	1	2	25	40
看護全体	29	35	5	7	85	161
大学全体	67	83	7	10	197	373
助・研	2	1	0	0	10	13



施設・設備の満足度については、「利用しない」者を除くと、いずれの施設・設備に対しても「満足」「やや満足」が大部分を占めた。

(3) 教育体制・各部署の対応について問う項目

①教育体制への満足度に関する項目

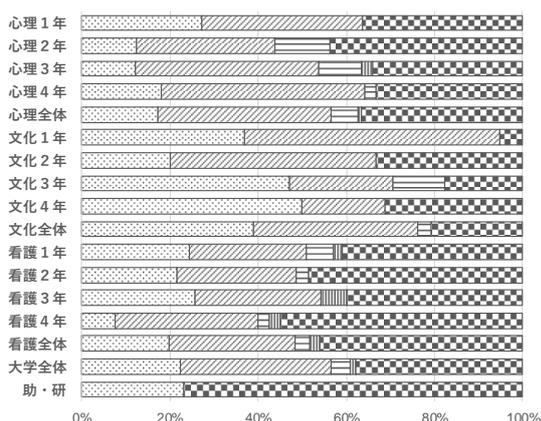
(Q12) 教育体制に対する満足度

設問12では、本学の教育体制について、【地域連携体制】【所属学科の課外活動】【キャリア支援体制】【所属する科やコースのカリキュラム】【カウンセリングなどの相談体制】【担任やメンター教員の制度】【オフィスアワー】【海外留学支援体制】の満足度を尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダムイズした。回答方法は、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「利用しない」の5件法である。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合（パーセンテージ）を右側の図に記載する。

凡例： □満足 □やや満足 □やや不満 □不満 □利用しない

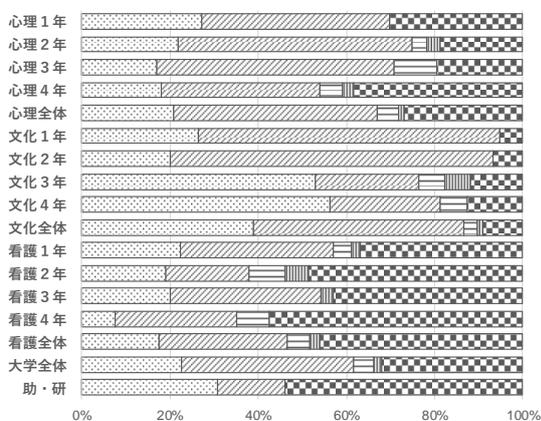
1. 地域連携体制（地域活動、ボランティア等）

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	12	0	0	12	33
心理2年	4	10	4	0	14	32
心理3年	5	17	4	1	14	41
心理4年	7	18	1	0	13	39
心理全体	25	57	9	1	53	145
文化1年	7	11	0	0	1	19
文化2年	3	7	0	0	5	15
文化3年	8	4	2	0	3	17
文化4年	8	3	0	0	5	16
文化全体	26	25	2	0	14	67
看護1年	12	13	3	1	20	49
看護2年	8	10	1	0	18	37
看護3年	9	10	0	2	14	35
看護4年	3	13	1	1	22	40
看護全体	32	46	5	4	74	161
大学全体	83	128	16	5	141	373
助・研	3	0	0	0	10	13



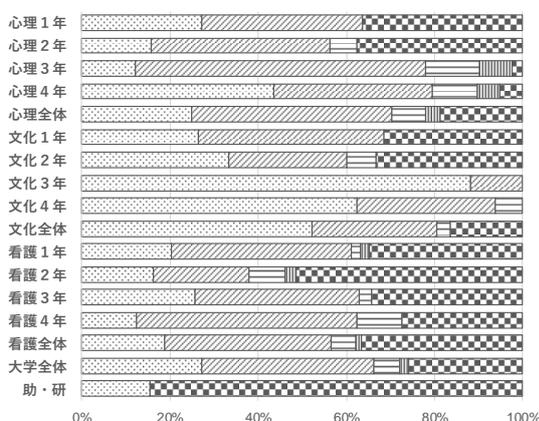
2. 所属学科の課外活動（フィールドワーク等）

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	14	0	0	10	33
心理2年	7	17	1	1	6	32
心理3年	7	22	4	0	8	41
心理4年	7	14	2	1	15	39
心理全体	30	67	7	2	39	145
文化1年	5	13	0	0	1	19
文化2年	3	11	0	0	1	15
文化3年	9	4	1	1	2	17
文化4年	9	4	1	0	2	16
文化全体	26	32	2	1	6	67
看護1年	11	17	2	1	18	49
看護2年	7	7	3	2	18	37
看護3年	7	12	0	1	15	35
看護4年	3	11	3	0	23	40
看護全体	28	47	8	4	74	161
大学全体	84	146	17	7	119	373
助・研	4	2	0	0	7	13



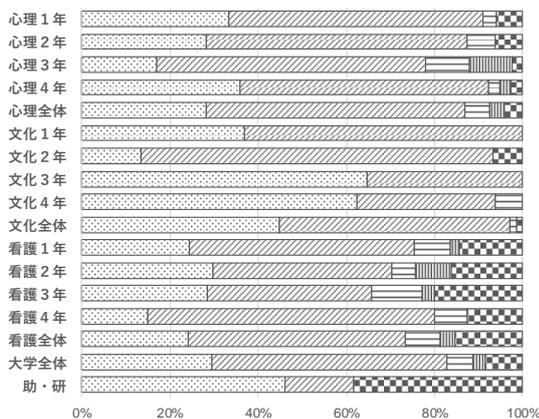
3. キャリア支援体制（就職活動支援、キャリアセミナー等）

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	12	0	0	12	33
心理2年	5	13	2	0	12	32
心理3年	5	27	5	3	1	41
心理4年	17	14	4	2	2	39
心理全体	36	66	11	5	27	145
文化1年	5	8	0	0	6	19
文化2年	5	4	1	0	5	15
文化3年	15	2	0	0	0	17
文化4年	10	5	1	0	0	16
文化全体	35	19	2	0	11	67
看護1年	10	20	1	1	17	49
看護2年	6	8	3	1	19	37
看護3年	9	13	1	0	12	35
看護4年	5	20	4	0	11	40
看護全体	30	61	9	2	59	161
大学全体	101	146	22	7	97	373
助・研	2	0	0	0	11	13



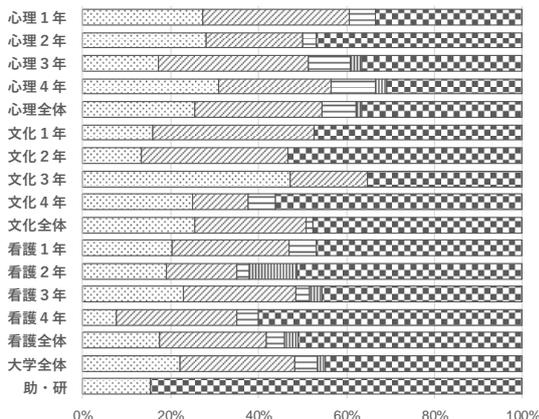
4. 所属する科やコースのカリキュラム

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	11	19	1	0	2	33
心理2年	9	19	2	0	2	32
心理3年	7	25	4	4	1	41
心理4年	14	22	1	1	1	39
心理全体	41	85	8	5	6	145
文化1年	7	12	0	0	0	19
文化2年	2	12	0	0	1	15
文化3年	11	6	0	0	0	17
文化4年	10	5	1	0	0	16
文化全体	30	35	1	0	1	67
看護1年	12	25	4	1	7	49
看護2年	11	15	2	3	6	37
看護3年	10	13	4	1	7	35
看護4年	6	26	3	0	5	40
看護全体	39	79	13	5	25	161
大学全体	110	199	22	10	32	373
助・研	6	2	0	0	5	13



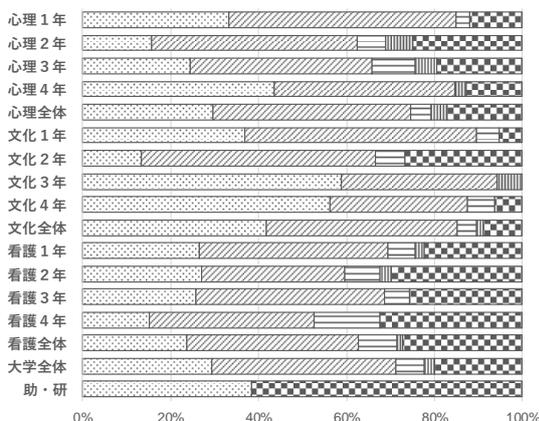
5. カウンセリングなどの相談体制

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	11	2	0	11	33
心理2年	9	7	1	0	15	32
心理3年	7	14	4	1	15	41
心理4年	12	10	4	1	12	39
心理全体	37	42	11	2	53	145
文化1年	3	7	0	0	9	19
文化2年	2	5	0	0	8	15
文化3年	8	3	0	0	6	17
文化4年	4	2	1	0	9	16
文化全体	17	17	1	0	32	67
看護1年	10	13	3	0	23	49
看護2年	7	6	1	4	19	37
看護3年	8	9	1	1	16	35
看護4年	3	11	2	0	24	40
看護全体	28	39	7	5	82	161
大学全体	82	98	19	7	167	373
助・研	2	0	0	0	11	13



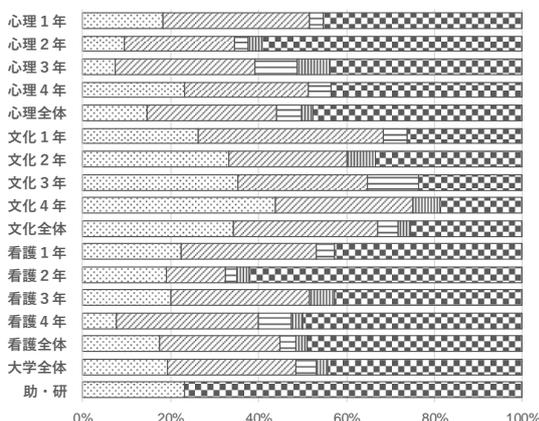
6. 担任やメンター教員の制度

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	11	17	1	0	4	33
心理2年	5	15	2	2	8	32
心理3年	10	17	4	2	8	41
心理4年	17	16	0	1	5	39
心理全体	43	65	7	5	25	145
文化1年	7	10	1	0	1	19
文化2年	2	8	1	0	4	15
文化3年	10	6	0	1	0	17
文化4年	9	5	1	0	1	16
文化全体	28	29	3	1	6	67
看護1年	13	21	3	1	11	49
看護2年	10	12	3	1	11	37
看護3年	9	15	2	0	9	35
看護4年	6	15	6	0	13	40
看護全体	38	63	14	2	44	161
大学全体	109	157	24	8	75	373
助・研	5	0	0	0	8	13



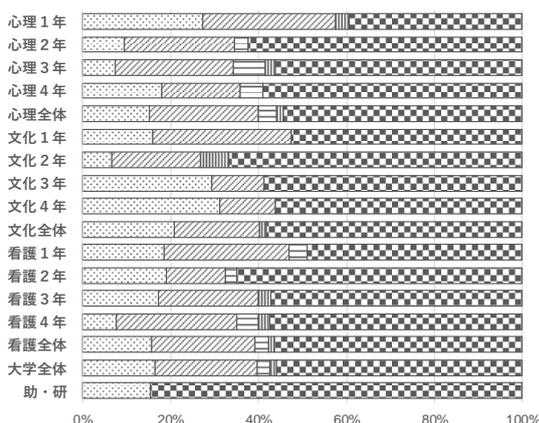
7. オフィスアワー

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	6	11	1	0	15	33
心理2年	3	8	1	1	19	32
心理3年	3	13	4	3	18	41
心理4年	9	11	2	0	17	39
心理全体	21	43	8	4	69	145
文化1年	5	8	1	0	5	19
文化2年	5	4	0	1	5	15
文化3年	6	5	2	0	4	17
文化4年	7	5	0	1	3	16
文化全体	23	22	3	2	17	67
看護1年	11	15	2	0	21	49
看護2年	7	5	1	1	23	37
看護3年	7	11	0	2	15	35
看護4年	3	13	3	1	20	40
看護全体	28	44	6	4	79	161
大学全体	72	109	17	10	165	373
助・研	3	0	0	0	10	13



8. 海外留学支援体制

	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない	合計
心理1年	9	10	0	1	13	33
心理2年	3	8	1	0	20	32
心理3年	3	11	3	1	23	41
心理4年	7	7	2	0	23	39
心理全体	22	36	6	2	79	145
文化1年	3	6	0	0	10	19
文化2年	1	3	0	1	10	15
文化3年	5	2	0	0	10	17
文化4年	5	2	0	0	9	16
文化全体	14	13	0	1	39	67
看護1年	9	14	2	0	24	49
看護2年	7	5	1	0	24	37
看護3年	6	8	0	1	20	35
看護4年	3	11	2	1	23	40
看護全体	25	38	5	2	91	161
大学全体	61	87	11	5	209	373
助・研	2	0	0	0	11	13



教育体制の満足度については、「利用しない」者を除くと、いずれの教育体制に対して
も「満足」「やや満足」が大部分を占めた。

②各部署の対応の適切さに関する項目

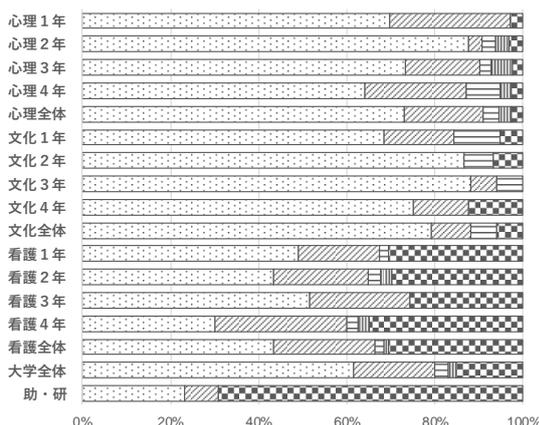
(Q13) 各部署の対応の適切さについて

設問13では、本学に設置されている部署である【学生支援部】【キャリア支援課】【地域連携センター】【国際交流センター】【システム室】【総務部】【入試広報部】【図書館（上野・東口）】【保健室】【東口事務部】の対応の適切さについて尋ねた。回答が設問項目の表示順序による影響を受けないよう、設問はランダム化した。回答方法は、「適切」「わりと適切」「やや不適切」「不適切」「利用経験なし」の5件法である。大学の学科・学年ごと、大学全体及び大学院を集計し、それぞれの項目に対する回答の人数を左側の表に、回答の割合（パーセンテージ）を右側の図に記載する。

凡例： □適切 □わりと適切 □やや不適切 ■不適切 □利用経験なし

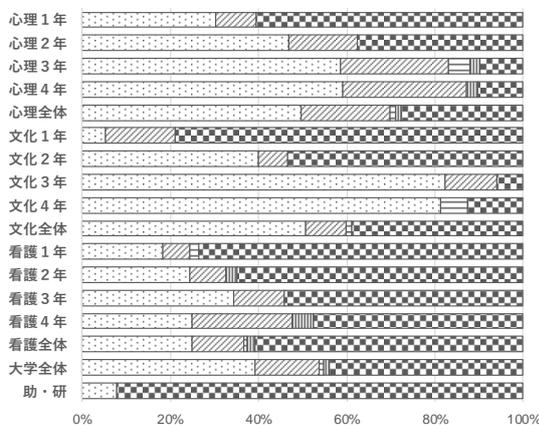
1. 学生支援部（教務課・学生課）【履修登録、定期試験、実習関係、奨学金、生活相談等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用経験なし	合計
心理1年	23	9	0	0	1	33
心理2年	28	1	1	1	1	32
心理3年	30	7	1	2	1	41
心理4年	25	9	3	1	1	39
心理全体	106	26	5	4	4	145
文化1年	13	3	2	0	1	19
文化2年	13	0	1	0	1	15
文化3年	15	1	1	0	0	17
文化4年	12	2	0	0	2	16
文化全体	53	6	4	0	4	67
看護1年	24	9	1	0	15	49
看護2年	16	8	1	1	11	37
看護3年	18	8	0	0	9	35
看護4年	12	12	1	1	14	40
看護全体	70	37	3	2	49	161
大学全体	229	69	12	6	57	373
助・研	3	1	0	0	9	13



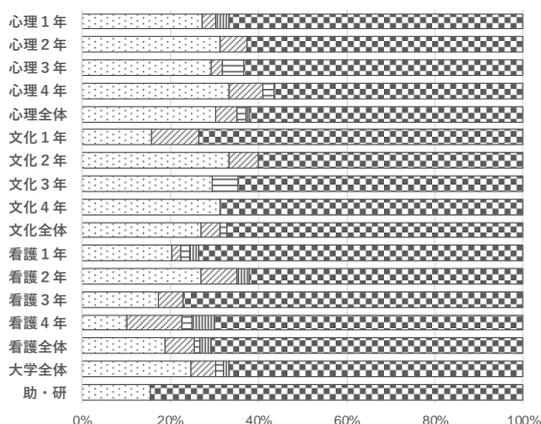
2. 学生支援部（キャリア支援課）【相談、情報提供、各種セミナー、ガイダンス等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用経験なし	合計
心理1年	10	3	0	0	20	33
心理2年	15	5	0	0	12	32
心理3年	24	10	2	1	4	41
心理4年	23	11	0	1	4	39
心理全体	72	29	2	2	40	145
文化1年	1	3	0	0	15	19
文化2年	6	1	0	0	8	15
文化3年	14	2	0	0	1	17
文化4年	13	0	1	0	2	16
文化全体	34	6	1	0	26	67
看護1年	9	3	1	0	36	49
看護2年	9	3	0	1	24	37
看護3年	12	4	0	0	19	35
看護4年	10	9	0	2	19	40
看護全体	40	19	1	3	98	161
大学全体	146	54	4	5	164	373
助・研	1	0	0	0	12	13



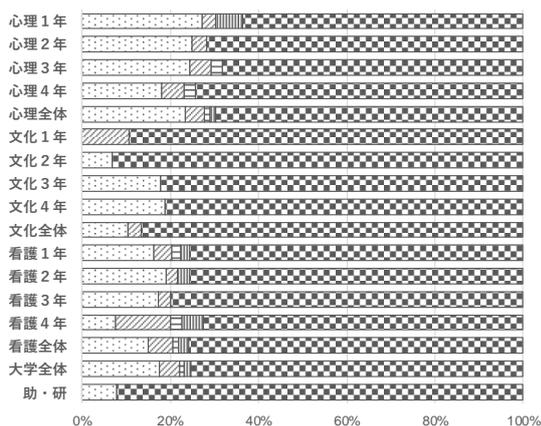
3. 地域連携センター【ボランティア等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	9	1	0	1	22	33
心理2年	10	2	0	0	20	32
心理3年	12	1	2	0	26	41
心理4年	13	3	1	0	22	39
心理全体	44	7	3	1	90	145
文化1年	3	2	0	0	14	19
文化2年	5	1	0	0	9	15
文化3年	5	0	1	0	11	17
文化4年	5	0	0	0	11	16
文化全体	18	3	1	0	45	67
看護1年	10	1	1	1	36	49
看護2年	10	3	0	1	23	37
看護3年	6	2	0	0	27	35
看護4年	4	5	1	2	28	40
看護全体	30	11	2	4	114	161
大学全体	92	21	6	5	249	373
助・研	2	0	0	0	11	13



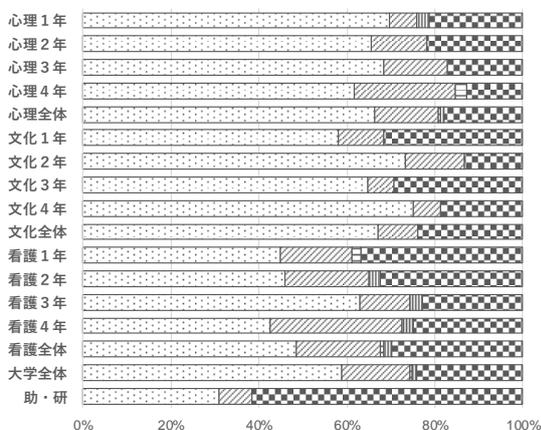
4. 国際交流センター【国際交流等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	9	1	0	2	21	33
心理2年	8	1	0	0	23	32
心理3年	10	2	1	0	28	41
心理4年	7	2	1	0	29	39
心理全体	34	6	2	2	101	145
文化1年	0	2	0	0	17	19
文化2年	1	0	0	0	14	15
文化3年	3	0	0	0	14	17
文化4年	3	0	0	0	13	16
文化全体	7	2	0	0	58	67
看護1年	8	2	1	1	37	49
看護2年	7	1	0	1	28	37
看護3年	6	1	0	0	28	35
看護4年	3	5	1	2	29	40
看護全体	24	9	2	4	122	161
大学全体	65	17	4	6	281	373
助・研	1	0	0	0	12	13



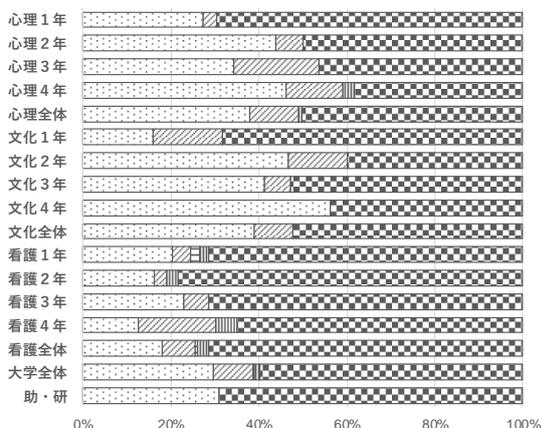
5. システム室【コンピュータ関係】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	23	2	0	1	7	33
心理2年	21	4	0	0	7	32
心理3年	28	6	0	0	7	41
心理4年	24	9	1	0	5	39
心理全体	96	21	1	1	26	145
文化1年	11	2	0	0	6	19
文化2年	11	2	0	0	2	15
文化3年	11	1	0	0	5	17
文化4年	12	1	0	0	3	16
文化全体	45	6	0	0	16	67
看護1年	22	8	1	0	18	49
看護2年	17	7	0	1	12	37
看護3年	22	4	0	1	8	35
看護4年	17	12	0	1	10	40
看護全体	78	31	1	3	48	161
大学全体	219	58	2	4	90	373
助・研	4	1	0	0	8	13



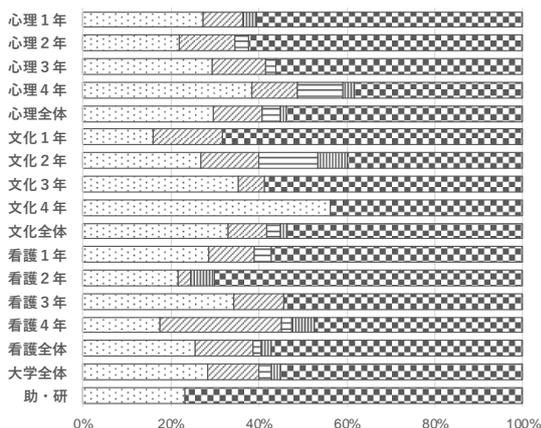
6. 総務部(M館1階の総務課・管財課、経理課)【備品借用、集金等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	9	1	0	0	23	33
心理2年	14	2	0	0	16	32
心理3年	14	8	0	0	19	41
心理4年	18	5	0	1	15	39
心理全体	55	16	0	1	73	145
文化1年	3	3	0	0	13	19
文化2年	7	2	0	0	6	15
文化3年	7	1	0	0	9	17
文化4年	9	0	0	0	7	16
文化全体	26	6	0	0	35	67
看護1年	10	2	1	1	35	49
看護2年	6	1	0	1	29	37
看護3年	8	2	0	0	25	35
看護4年	5	7	0	2	26	40
看護全体	29	12	1	4	115	161
大学全体	110	34	1	5	223	373
助・研	4	0	0	0	9	13



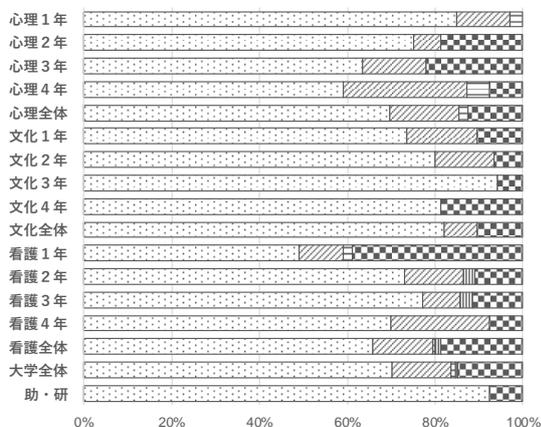
7. 入試広報部【オープンキャンパス手伝い・大学案内作成等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	9	3	0	1	20	33
心理2年	7	4	1	0	20	32
心理3年	12	5	1	0	23	41
心理4年	15	4	4	1	15	39
心理全体	43	16	6	2	78	145
文化1年	3	3	0	0	13	19
文化2年	4	2	2	1	6	15
文化3年	6	1	0	0	10	17
文化4年	9	0	0	0	7	16
文化全体	22	6	2	1	36	67
看護1年	14	5	2	0	28	49
看護2年	8	1	0	2	26	37
看護3年	12	4	0	0	19	35
看護4年	7	11	1	2	19	40
看護全体	41	21	3	4	92	161
大学全体	106	43	11	7	206	373
助・研	3	0	0	0	10	13



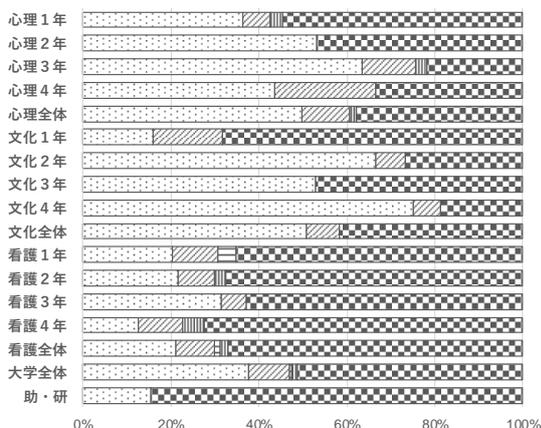
8. 図書館(上野・東口)【図書・DVD 利用方法、利用時間、貸出し、機器の説明等】

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用継続なし	合計
心理1年	28	4	1	0	0	33
心理2年	24	2	0	0	6	32
心理3年	26	6	0	0	9	41
心理4年	23	11	2	0	3	39
心理全体	101	23	3	0	18	145
文化1年	14	3	0	0	2	19
文化2年	12	2	0	0	1	15
文化3年	16	0	0	0	1	17
文化4年	13	0	0	0	3	16
文化全体	55	5	0	0	7	67
看護1年	24	5	1	0	19	49
看護2年	27	5	0	1	4	37
看護3年	27	3	0	1	4	35
看護4年	28	9	0	0	3	40
看護全体	106	22	1	2	30	161
大学全体	262	50	4	2	55	373
助・研	12	0	0	0	1	13



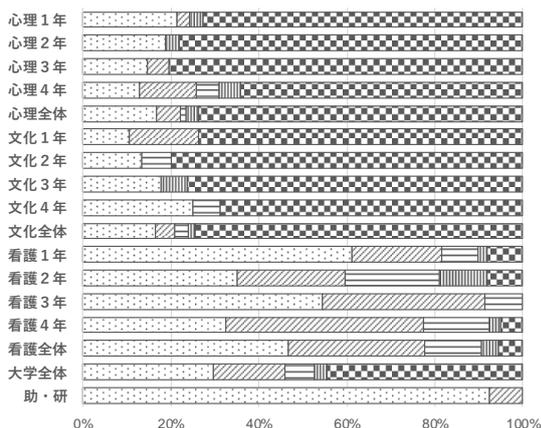
9. 保健室

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用困難なし	合計
心理1年	12	2	0	1	18	33
心理2年	17	0	0	0	15	32
心理3年	26	5	0	1	9	41
心理4年	17	9	0	0	13	39
心理全体	72	16	0	2	55	145
文化1年	3	3	0	0	13	19
文化2年	10	1	0	0	4	15
文化3年	9	0	0	0	8	17
文化4年	12	1	0	0	3	16
文化全体	34	5	0	0	28	67
看護1年	10	5	2	0	32	49
看護2年	8	3	0	1	25	37
看護3年	11	2	0	0	22	35
看護4年	5	4	0	2	29	40
看護全体	34	14	2	3	108	161
大学全体	140	35	2	5	191	373
助・研	2	0	0	0	11	13



10. 東口事務部

	適切	わりと適切	やや不適切	不適切	利用困難なし	合計
心理1年	7	1	0	1	24	33
心理2年	6	0	0	1	25	32
心理3年	6	2	0	0	33	41
心理4年	5	5	2	2	25	39
心理全体	24	8	2	4	107	145
文化1年	2	3	0	0	14	19
文化2年	2	0	1	0	12	15
文化3年	3	0	0	1	13	17
文化4年	4	0	1	0	11	16
文化全体	11	3	2	1	50	67
看護1年	30	10	4	1	4	49
看護2年	13	9	8	4	3	37
看護3年	19	13	3	0	0	35
看護4年	13	18	6	1	2	40
看護全体	75	50	21	6	9	161
大学全体	110	61	25	11	166	373
助・研	12	1	0	0	0	13



3. アンケートの集計 (学科)

次に、学科ごと（心理コミュニケーション学科・文化学科・看護学科・専攻科・研究科）で調査を行った設問について、それぞれの設問の内容と回答の集計の概要を報告する。

(1) 心理コミュニケーション学科

(Q1) 回答者の所属コース

設問1では、回答者の所属コースについて尋ねた。選択肢は【1年なので所属なし】【心理コース】【英語コミュニケーションコース】の3つである。学年別及び学科全体を集計した表を記載する。

	所属なし (1年)	心理コース	英語コース	全体
心理1年	33	0	0	33
心理2年	0	6	26	32
心理3年	0	6	35	41
心理4年	0	9	30	39
心理全体	33	21	91	145

(Q2) 所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて

設問2では、所属コースのよさ・魅力・おすすめポイントについて自由記述で回答を求めた。所属コース、学年別の内容のまとめを以下の表に記載する。

-	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが多く、人間関係が円滑に進みやすい ・さまざまな角度から心理学を勉強できる ・学生同士思いやりがある ・教員との距離が近いところ ・授業が楽しい ・先生が丁寧に教えてくれるところ ・先生が優しく、分からないことはすぐ教えてくれる ・先生にすぐ相談できる環境 ・先生も学生もみんな優しく、フレンドリーなところ ・先生方がわからないことがあったらすぐに教えてくださる ・先生方が優しいので、質問したり相談事がしやすいと感じる。 ・先生方と距離が近く声をかけやすい点 ・優しい人が多い 適度な距離感で過ごすことができる ・英語コースを希望。少人数で分からないことを聞きやすい、個人でのプレゼンが多いので発表に自信がつく。 ・少人数で発言しやすい (英語)
---	----	--

心理C	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークなどの教科が多く、コミュニケーションの苦手意識などを徐々に克服することができている ・みんな優しい ・教員と生徒の距離が近く、授業でわからないところがあれば気軽に聞くことができる ・私は対人緊張が強く、ペア・グループワークが苦手である。しかし、グループで活動をする時にメンバーは私の性格を責めることなく受け入れてくれたり、声をかけてくれるため心理コースの学生は優しい人が多いと感じている ・心理学の中でもいろいろな種類を学べる ・心理学の様々な分野について学べる。教員も話しやすい人が多い ・人が優しい ・人と関わる機会が多いのでコミュ力を鍛えられる ・置いて行かれる気持ちにならない、丁寧な授業の進め方だと感じます。自分自身の考え方や価値観について考え直したりする機会が多く、考えるためのアドバイスがなりたいたい自分になるための役に立っていると感じます ・幅広い分野を学べる
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の時よりもより様々な分野に詳しく心理のことを知ることが出来る ・グループワークが比較的多い。他の学科に比べて優しい人や落ち着いている人が多く、ワークでも積極的に話してくれる。 ・ノンバーバルコミュニケーションを学べる点が良いと思う ・わりとみんな落ち着いているので勉強に集中しやすい ・教員との距離が近い ・教員や学生が優しく、温かい雰囲気がある。コミュニケーション能力が身につく。 ・自分の学びたいことが明確になったら授業が楽しくなってくる ・少人数で意見交換をしやすい ・心についての学びが面白い ・心理学の中でも家族心理学や福祉心理学など幅広く学ぶことができる。 ・心理学を学ぶことで、自分のコミュニケーションの傾向を理解することができる ・身近にある現象について知ることができたり、人生をより良く生きるためのことを知ることができたり、人生のやりがいを見出せると感じます。 ・先生が優しい ・先生と生徒との距離が近く、質問やただの雑談等する生徒が多い印象。 ・落ち着いた学生が多い
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・心理について学ぶことが出来るところ。 ・たのしい ・授業が面白いこと、先生方が親身なこと等 ・授業の雰囲気などが良く、授業で学んだことが学習面だけではなく、普段の生活でも役立つ ・心理についてより多くの分野が学べる ・心理を身近に感じることができる。また、分析や分析のレポート提出(論文)をたくさん行えるため、パソコン技術等の将来に繋がる実力が身につくこと。また、先生方との距離が近く、わからないこと、困ったことがあったらすぐ聞けること。 ・心理学が一般的に広く学べる ・心理学を広く学べること ・先生が熱心に対応して下さいます。 ・先生方が親切、学生が優しい、色んな心理学を学べる、グループワークが多く色んな人と打ち解けやすい ・勉強のことでも私生活のことでも、相談しやすい先生がいる。

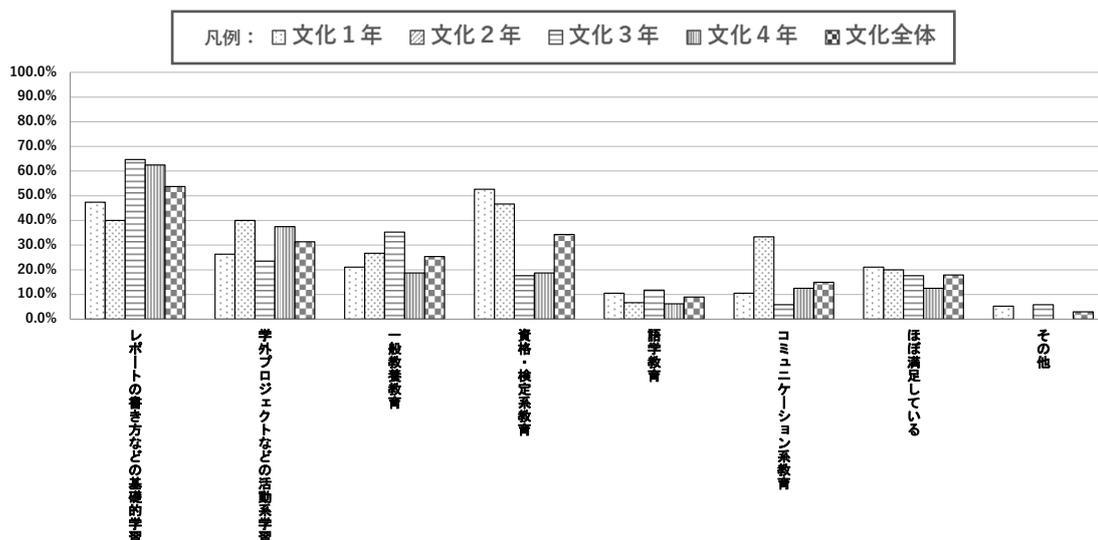
英語C	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンをする回数が多いため、プレゼンテーション力が向上すること ・自分は教職の授業も取っていますが、模擬授業できる機会が多くあってそこで評価して貰えたり、多文化の交流について詳しい先生から実体験をお聞きすることが出来たり英語の学び直しが出来るところです ・少人数なため、先生との距離が近く、一人一人丁寧に指導して下さる ・国際交流が多いこと
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい ・教員との距離が近く話しやすい ・海外の方と関わる機会がある ・少人数の授業で、教員に質問しやすい ・TGGやA to Zなど、学校外での経験ができる ・英語を様々な視点から深く学べる ・教職の課程では、色々な実習がある。指導案作成や模擬授業をたくさん練習できる ・人数が少なく仲がいい。先生との距離が近いので、相談などがしやすい環境にある TGGなどで東京に行く機会があったり、インターナショナルカフェや、タコバなど、学年を超えて仲良くなる事が出来る ・先生がフレンドリーに接して下さる ・先生が気さく、少人数制なのでコース内での仲の良さはピカイチ、コンテストや検定も受けれるので自分の実力が測れる、縦のつながりの交流がある
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を集中的に学べる、英語が好きなお人と学びより意欲が湧く、先生方が親身になってくれ、授業も面白い ・少人数でアットホームな空間が居心地良い ・少人数での授業が多いため、積極的に授業に参加しやすく、教養や知識を深めることができる。また、国際交流の機会も多く設けられているため、自身の学びを実践的に活かすことができる ・少人数なので、友達や先生との距離が近く授業もしやすいので、分からないことがあれば、気楽に話しかけやすいのが英語コースの良さだと思いました。授業以外での悩みも真剣に聞いてくださり、その相談にあったアドバイスをしてくださいます ・少人数なのでとても楽 ・少人数制で、授業で間違えたりしても誰も責めないし、褒めてくれる仲間が沢山いること。コース内のつながりが強いこと。ユーモアのある先生もいて好きです。グループワークなどが沢山あること。授業が楽しいこと

(2) 文化学科

(Q1) カリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野

設問 1 では、文化学科のカリキュラムの中で、もっと充実させたいと感じる分野について、【レポートの書き方などの基礎的学習】【学外プロジェクトなどの活動系学習】【一般教養教育】【資格・検定系教育】【語学教育】【コミュニケーション系教育】【ほぼ満足している】【その他】の 8 項目から 3 つまで選択可として尋ねた。学年別の回答割合（パーセンテージ）の表と図を以下に記載する。

	レポートの書き方などの基礎的学習	学外プロジェクトなどの活動系学習	一般教養教育	資格・検定系教育	語学教育	コミュニケーション系教育	ほぼ満足している	その他
文化 1 年	47.4%	26.3%	21.1%	52.6%	10.5%	10.5%	21.1%	5.3%
文化 2 年	40.0%	40.0%	26.7%	46.7%	6.7%	33.3%	20.0%	0.0%
文化 3 年	64.7%	23.5%	35.3%	17.6%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%
文化 4 年	62.5%	37.5%	18.8%	18.8%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%
文化全体	53.7%	31.3%	25.4%	34.3%	9.0%	14.9%	17.9%	3.0%



(Q2) 文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて

設問 2 では、文化学科のよさ・魅力・おすすめポイントについて自由記述で回答を求めた。学年別の内容のまとめを以下の表に記載する。

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から何かをしようとする行動できる場が、充実している ・ピアサポーターに所属しているのですが、文化学科のピアはオープンキャンパスの運営を自分たちで進めたり、学年の交流会を開催したりと自発的な活動が多いので、充実しています ・幅広く学べる ・興味のある事が沢山あるので、幅広く学べる点と、これからの就職などを見越した授業が早くからある点が魅力だと思います
----	---

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野を学べる、先生との距離が近い ・いろんな分野を知ることができるので、興味を持てるものを見つけられることができます ・レポートの書き方など大学生活や学習の基礎を1年かけて丁寧に教えてくれることです ・伝統文化だけでなくとても広い領域を学ぶことができる ・グループワークで他の人の意見や経験を聞けること ・やりたいことが決まってない自分にとっては色々な種類の科目があり、視野が広がる ・パソコン(OfficeやAdobeなど)の技能を鍛えられる。パワポの作り方がわかるようになる ・文化学科の魅力は、多様な視点で物事を考えられるようになることです。授業や活動を通して、文化が日常や社会と深く結びついていることを実感できました。先生や学校から学外活動も推進しており、最初は緊張したが自主的に学ぶことの重要性を感じることが出来ました ・あらゆる文化について学べる。学外活動があるため、伝統文化に実際に参加をし、身に染みて体験が可能 ・様々な分野を学べる ・将来に向けた取り組みができる ・教員の多さ
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く色々な分野を学べる。資格が取れる授業がたくさんある ・やりたいことをやらせてもらえる。フィールドワークが多い。少人数だから一人ひとり見てもらえる ・学科の雰囲気、幅広い分野が学べる ・自分の好きをさらに深めることができ、かつ新しい発見があるところ ・グループワークやプレゼンが多いので、コミュニケーション力や人の前に立って話す力をつけることができる ・幅広く学べる ・アットホームな雰囲気 ・少人数なので学科全員と関わる機会がある。おもしろい先生がたくさんいる ・外部活動が多いこと ・好きなことを学べる ・先生との距離が近いということが非常に良いところだと思います
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を鍛える場面が多く、今就活ですごく役に立っている。ありがたい ・情報や、芸術分野、地域創生など様々な分野が多角的に学べる ・分野に縛られず色々なことを学べる ・先生方と距離が近く、相談しやすい環境であること ・先生との距離が近くて話しやすい ・自由度の高さ ・先生方と距離が近くて悩みや相談をすることのハードルが低いと感じます。先生方もとても優しくこの大学に入ってよかったと思っています ・卒業後の進路に応じて様々な学習方法を選択できる
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが多いので大勢の中で意見を言うことなどに慣れることができる ・グループワークが多く、発言したり人の意見を聞いたりする力が養われるところ ・文化についてさまざまな角度から学ぶことができることや、グループワーク、フィールドワークが充実していること。それにより座学による知識だけでなく、コミュニケーション力や協調性が身につくことも魅力的である ・文化について学びたい人のニーズを満たすような、幅広い学びの機会が多い点 ・色々な分野が幅広く学べる ・いい意味でなんでもありな学科。縛られずになんでも学べる ・自由度が高く、自主性を養うことができる。教員皆さん優しいので、自分に合う学びが自分のペースで行うことができる ・少人数で距離が近い ・学芸員資格や司書資格がとれる

(3) 看護学部（看護学科・専攻科・研究科）

(Q1) 地域に関わる活動

設問 1 では、授業・サークル・アルバイト以外で、地域に関わる活動をしているかについて、内容を自由記述で尋ねた。学年別の内容のまとめを以下の表に記載する。

(看護学科)

1年	・ネイチャーセンター ・長野市としてのサークル ・飯山市が運営している水泳クラブでボランティアでコーチとして子供達に水泳を教えている
2年	・ボランティア活動 ・和太鼓チームに所属していて、地域内外で演奏をしています。 ・ボランティア(2)
4年	・認知症啓発活動の講演会 ・中学校のチューター ・地域でのイベントへの参加

(専攻科・研究科)

回答記載なし

(Q2) 全体的な満足度

設問 2 では、これまでの看護学部（看護学科・専攻科・研究科）の全体的な満足度について尋ねた。回答方法は「とても満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の 5 件法である。学年別及び全体のそれぞれの回答人数を上の表に、回答の割合（パーセンテージ）を下の図に記載する。

	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
看護 1 年	12	24	12	1	0
看護 2 年	8	18	10	1	0
看護 3 年	6	23	6	0	0
看護 4 年	7	23	9	1	0
助・研	9	4	0	0	0
看・助・研全体	42	92	37	3	0

